

第5編 学則

第1章 学部

第1節 総合福祉学部 共生まちづくり学部 教育学部 健康科学部

○ 学則

第1章 総則

第1節 目的、使命及び自己評価等

(目的、使命)

第1条 東北福祉大学は学校教育法に基づき、建学の精神に則り広く学術理論と応用を教授・研究して、高潔な人格と豊かな教養を培い、福祉社会を担う有為な人材を養成することを目的とし、もって人類の幸福の追求と国際社会並びに地域社会の発展に貢献することを使命とする。

(自己評価等)

第2条 前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価に関する規程は、別に定める。

第2節 組織及び収容定員

(学部等連係課程)

第3条 本学に、総合福祉学部、共生まちづくり学部、教育学部及び健康科学部を置く。

2 本学に大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)に定める学部等連係課程実施基本組織として、応用福祉学連係教育課程を置く。

3 本学の学生定員(通信教育部を除く。)は、次のとおりとする。なお、専攻・コース及びその教育課程は別に定める。

学部等	学科名	入学定員	収容定員
総合福祉学部	社会福祉学科	400名【50名】	1,600名【200名】
	福祉心理学科	150名	600名
	福祉行政学科	100名	400名
	小計	650名【50名】	2,600名【200名】
共生まちづくり学部	共生まちづくり学科	120名【20名】	480名【80名】
	小計	120名【20名】	480名【80名】

教育学部	教育学科	250名	1,000名
	初等教育専攻	(200名)	(800名)
	中等教育専攻	(50名)	(200名)
	小計	250名	1,000名
健康科学部	保健看護学科	120名	480名
	リハビリテーション学科	80名	320名
	理学療法学専攻	(40名)	(160名)
	作業療法学専攻	(40名)	(160名)
	医療経営管理学科	80名【10名】	320名【40名】
	小計	280名【10名】	1,120名【40名】
応用福祉学連係教育課程		【80名】	【320名】
総 計		1,300名	5,200名
備考 応用福祉学連係教育課程の入学定員及び収容定員は、総合福祉学部社会福祉学科、共生まちづくり学部共生まちづくり学科及び健康科学部医療経営管理学科の定員の内数とし、【 】は、各学科に係る内数を示す。			

- 4 学部学科の教育研究上の目的は、別添1のとおりとする。
 5 第一項の総合福祉学部に通信教育部を置く。通信教育部に置く学科及び収容定員は次のとおりとする。

学 科 名	入 学 定 員	収 容 定 員
社会福祉学科	600名	2,400名
福祉心理学科	200名	800名
計	800名	3,200名

- 6 通信教育部の学則は別に定める。

(大学院)

- 第4条** 本学に大学院を置く。
 2 大学院に関する学則は別に定める。

(付属研究所・センター等)

- 第5条** 本学に次の研究所及びセンターを置く。
 感性福祉研究所 佛教文化研究所 高等教育推進センター
 2 研究所及びセンターの組織・運営等に関する規程は別に定める。

(図書館・美術工芸館)

- 第6条** 本学に図書館及び美術工芸館を置く。
 2 図書館及び美術工芸館の組織・運営等に関する規程は別に定める。

(せんだんホスピタル)

- 第7条** 本学にせんだんホスピタルを置く。

2 せんだんホスピタルの組織・運営等に関する規程は別に定める。

(事務局)

第8条 本学に事務局を置く。

2 事務局の組織・運営等に関する規程は別に定める。

第3節 教職員

(教職員)

第9条 本学に次の教職員を置く。

学長、副学長、学部長、図書館長、美術工芸館長、病院長、学科長、課程長、所長、センター長、教授、准教授、講師、助教

局長、部長、部長代行、副部長、副センター長、室長、副館長、次長、課長、課長補佐、係長、主任、事務員、司書、学芸員、助手、その他必要な職員

(人事委員会)

第10条 本学の専任教員の任免及び昇任又は降任の選考に関し、学長の諮問に応ずるため人事委員会を置く。

2 人事委員会に関する規程は別に定める。

(名誉教授)

第10条の2 本学に功労があり、学術上功績のある者に対して人事委員会の推薦により名誉教授の称号を贈ることができる。

2 名誉教授の称号授与に関する規程は別に定める。

第4節 教授会

(教授会)

第11条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長、副学長、総務局長、学部長、学科長、課程長、専任の教授及び専任の准教授をもって組織する。ただし、休職者及び教授会決議によって出席の停止を命じられた者を除く。

(招集者)

第12条 教授会は学長が招集する。

(審議事項)

第13条 教授会は次の事項について審議し、学長が決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること。

(2) 学位の授与に関すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を参考して学長が定めたもの。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下、学長等といふ。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

3 この学則に定めるものの他、教授会に関し必要な事項は別に定める。

第5節 学年、授業期間、学期及び休業日

(学年・授業期間)

第14条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 每学年の授業期間は、35週を原則とする。

(学期)

第15条 学年を分けて次のとおりとする。

前 期 4月1日から9月30日まで

後 期 10月1日から翌年3月31日まで

第16条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 春季休業

(4) 夏季休業

(5) 冬季休業

2 必要がある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更し、あるいは前項に定めるものの他に臨時休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第17条 各学部の修業年限は4年とする。

(早期卒業)

第17条の2 前条の規定にかかわらず、本学に3年以上在学し、第46条に定める要件に該当する場合には、卒業を認めることができる。

(長期履修学生)

第17条の3 前条の規定にかかわらず、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する学生（以下「長期履修学生」という。）がその旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。ただし、第18条に定める最長在学年限を超えることはできない。

2 長期履修学生に関し、必要な事項は別に定める。

(在学年限)

第18条 学生は8年を越えて在学することはできない。ただし、第26条第1項の第1号・第2号・第3号・第4号・第5号の規定により入学した学生は第29条により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を越えて在学することはできない。

第2節 入学

(入学時期)

第19条 入学の時期は学年の始めとする。ただし、転入学、編入学、再入学については、学期の始めとすることができます。

(入学資格)

第20条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校、又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者。又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で18才に達した者

(入学の出願)

第21条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第22条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第23条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに保証人連署の「誓約書、保証書、同意書」その他所定の書類を提出するとともに、所定の諸納金を納付しなければならない。

2 学長は前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第24条 保証人は、その保証する学生の在学中本人が負担する学費につき、保証書記載額を限度に責任を負うことのできる者で、保証人は1名とし、独立生計者とする。

2 保証人が死亡、その他の理由により、その責を負うことができないときは新たに保証人を定めなおして身上変更届及び証明書類を提出しなければならない。

3 この学則に定めるものの他、保証人に関する必要な事項は、保証人に関する取扱規程を準用する。

(改姓等)

第25条 学生又は保証人が改姓・改名・転籍・転居をしたときは、ただちに証明書類を添えてその旨を届け出なければならない。

(編入学・転入学)

第26条 次の各号の一に該当する者で、総合福祉学部、共生まちづくり学部、教育学部及び健康科学部医療経営管理学科への入学を志願する者があるときは、いずれも欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 修業年限4年以上の大学に1年以上在学し、所定の単位を修得した者

- (3) 短期大学を卒業した者、又は高等専門学校を卒業した者
- (4) 学校教育法施行規則(附則)第7条に定める従前の規定による高等学校・専門学校、又は教員養成諸学校等の課程を修了し又は卒業した者
- (5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者

(再入学)

第27条 本学に1年以上在学し依頼退学した者で、同じ学科に再入学を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考の上、再入学を許可することがある。

(転学部・転学科・転籍)

第28条 転学部・転学科・転籍を希望する者は1年次若しくは2年次終了時、いずれも欠員のある場合に限り、選考の上、許可することがある。

(編入学・転入学・再入学・転学部・転学科・転籍者・移行の授業科目及び単位数の取扱い)

第29条 編入学・転入学・再入学の規定により入学を許可された者及び転学部・転学科・転籍を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

2 社会福祉学科・共生まちづくり学科・医療経営管理学科に在籍する学生は、2年次進級時に、応用福祉学連係教育課程に移行することができる。

第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第30条 本学に開設する授業科目は、その内容により基盤教育科目・全学実践科目・学科教育課程及び資格教育課程とする。

2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。なお、これらの授業は、文部科学大臣が別に定めることにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。また、当該授業を実施する科目は、履修規程において定める。

3 授業科目及び単位数は次のとおりである。

- | | |
|---|---------|
| (1) 基盤教育科目(総合福祉学部、共生まちづくり学部、教育学部、健康科学部、応用福祉学連係教育課程) | (別表1) |
| (2) 全学実践科目(科目群) | (別表2) |
| 1) グローバル化の推進 | (別表2-①) |
| 2) ボランティア支援 | (別表2-②) |
| 3) 就職支援 | (別表2-③) |
| 4) ICT支援 | (別表2-④) |
| (3) 学科教育課程 | |
| 1) 総合福祉学部社会福祉学科 | (別表3) |
| 2) 総合福祉学部福祉心理学科 | (別表4) |
| 3) 総合福祉学部福祉行政学科 | (別表5) |
| 4) 共生まちづくり学部共生まちづくり学科 | (別表6) |
| 5) 教育学部教育学科 | (別表7) |
| ① 初等教育専攻 | (別表7-①) |

② 中等教育専攻	(別表 7-②)
6) 健康科学部保健看護学科	(別表 8)
7) 健康科学部リハビリテーション学科	
① 理学療法学専攻	(別表 9-①)
② 作業療法学専攻	(別表 9-②)
8) 健康科学部医療経営管理学科	(別表 10)
9) 応用福祉学連係教育課程	(別表 11)
(4) 多職種連携領域(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部・応用福祉連係教育課程)	(別表 12)
(5) 社会福祉士国家試験受験資格に関する指定科目(総合福祉学部)	(別表 13)
(6) 社会福祉士国家試験受験資格に関する基礎科目(総合福祉学部)	(別表 14)
(7) 精神保健福祉士国家試験受験資格に関する指定科目(総合福祉学部)	(別表 15)
(8) 精神保健福祉士国家試験受験資格に関する基礎科目(総合福祉学部)	(別表 16)
(9) 保育士資格に関する科目(総合福祉学部社会福祉学科)	(別表 17)
(10) 保育士資格に関する科目(教育学部教育学科初等教育専攻)	(別表 18)
(11) 介護福祉士国家試験受験資格に関する科目(総合福祉学部社会福祉学科)	(別表 19)
(12) 教育職員免許状に関する科目	
1) 総合福祉学部	
(ア) 高等学校教諭一種免許状(福祉)に関する教育課程(社会福祉学科)	(別表 20)
(イ) 養護教諭一種免許状に関する教育課程(福祉心理学科)	(別表 21)
2) 教育学部教育学科	
(ア) 幼稚園教諭一種免許状に関する教育課程(初等教育専攻)	(別表 22)
(イ) 小学校教諭一種免許状に関する教育課程(初等教育専攻)	(別表 23)
(ウ) 中学校教諭一種免許状(社会)に関する教育課程(中等教育専攻)	(別表 24)
(エ) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)に関する教育課程(中等教育専攻)	(別表 25)
(オ) 高等学校教諭一種免許状(公民)に関する教育課程(中等教育専攻)	(別表 26)
(カ) 中学校教諭一種免許状(英語)に関する教育課程(中等教育専攻)	(別表 27)
(キ) 高等学校教諭一種免許状(英語)に関する教育課程(中等教育専攻)	(別表 28)
(ク) 特別支援学校教諭一種免許状に関する教育課程(幼保コースを除く。)	(別表 29)
(13) 司書教諭資格に関する科目(総合福祉学部社会福祉学科・教育学部教育学科(幼保コースを除く。))	(別表 30)
(14) 司書資格に関する専門科目(総合福祉学部・教育学部教育学科中等教育専攻・健康科学部医療経営管理学科)	(別表 31)
(15) 社会福祉主任用資格に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)	(別表 32)
(16) 身体障害者福祉主任用資格に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・応用福祉学連係教育課程)	(別表 33)
(17) 公認心理師資格に関する科目(総合福祉学部福祉心理学科)	(別表 34)
(18) (公財)日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者資格(総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)	
(ア) 初級パラスポーツ指導員資格に関する科目	(別表 35)
(イ) 中級パラスポーツ指導員資格に関する科目	(別表 36)
(19) 介護職員初任者研修の課程に関する科目(総合福祉学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)	(別表 37)
(20) レクリエーション・インストラクター資格に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)(別表 38)	
(21) 福祉用具専門相談員に関する科目(総合福祉学部・健康科学部医療経営管理学科・応	

- 用福祉学連係教育課程) (別表 39)
- (22) 臨床美術課程に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程) (別表 40)
- (23) 社会貢献活動支援士課程に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・応用福祉学連係教育課程) (別表 41)
- (24) デジタルコンテンツアセッサ課程に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程) (別表 42)
- (25) 救急救命士国家試験受験資格に関する科目(健康科学部医療経営管理学科) (別表 43)
- (26) スクールソーシャルワーク教育課程に関する科目(総合福祉学部社会福祉学科)(別表 44)
- (27) 健康運動実践指導者課程に関する科目(応用福祉学連係教育課程) (別表 45)
- (28) 診療情報管理士課程に関する科目(健康科学部医療経営管理学科) (別表 46)
- (29) 保健師国家試験受験資格に関する科目(健康科学部保健看護学科) (別表 47)
- (30) 助産師国家試験受験資格に関する科目(健康科学部保健看護学科) (別表 48)

(履修方法)

第31条 本学を卒業するためには、その区分に従い、124 単位以上(ただし、健康科学部保健看護学科は 125 単位以上、リハビリテーション学科作業療法学専攻は 126 単位以上)を修得しなければならない。

(1) 基盤教育科目

必修とする履修単位数は以下のとおりである。

科目区分	建学の精神を 知る科目	自分自身を考える 科目	多様性を考える 科目		自他の調和を考える 科目	計
	TFU 科目	自己管理力 (セルフマネジメント)	思考・ 判断力	表現 力		
履修 単位数	7	2	1 (3)	4	2	16 (18)

※ただし、それぞれの超過した単位も卒業単位に加算する。

※ () 内は健康科学部保健看護学科

(2) 全学実践科目(科目群)

基盤教育科目に付随して、各分野の学修を深めることを目的として学修する。その履修は、相当する基盤教育科目を同時履修又は学修後とする(別表 2)。

分 野	基盤教育科目	付随する科目群
グローバル化の推進に関する科目	英語 I・II、実用英語、第二外国語 I・II(中国語/韓国語)	グローバル・スタディ科目
ボランティア支援に関する科目	ボランティアを学ぶ 実践的防災を学ぶ	ボランティア・スタディ科目
就職支援に関する科目	リエゾンゼミ I キャリアデザイン	キャリア・スタディ科目
ICT に関する科目	AI の基礎 情報の科学 統計情報を見る眼	ICT・スタディ科目

(3) 学科教育課程

各学部学科の履修単位数は以下のとおりである。なお、各専攻・コースの教育課程は別に定める。

第5編 (学則)

学部名	学科名	科目区分							
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
総合福祉学部	社会福祉学科	人と社会の相互作用を理解する科目		対象・問題を俯瞰的に分析する科目		倫理的実践力を培う科目		開発・創造力を培う科目	
		人と社会の理解力		俯瞰的な分析力		論理的実践力		開発・創造力	
		8	16	6	28	4	24	6	25
	福祉心理学科	人間理解力を培う科目		実証的分析力を培う科目		主体的協働力を培う科目			
		人間理解力		実証的分析力		主体的協働力			
	福祉行政学科	潜在的な社会問題を発見する科目		社会的問題のリスクを発信する科目		官民協働による問題解決を模索する科目			
		課題発見力		発信力		問題解決力			
		10	32	10	24	4	32		
共生まちづくり学部	共生まちづくり学科	経済社会のしくみを学ぶ科目		社会の課題を学ぶ科目		総合的な解決の可能性を学ぶ科目		理論的な課題分析力を養う科目	
		基礎理解力		課題発見力		総合的理解力		課題分析力	
		4	14	2	14	6	8	0	24
		地域実践の方法論を学ぶ科目		観光・文化的な解決視点を養う科目		課題解決の実践力を磨く科目			
		課題挑戦力		総合的解決力		実践力			
		0	26	0	22	12	4		
教育学部	教育学科	人と人との関係を理解する科目		人と人の共生を学ぶ科目		人と人を結ぶ方法を学ぶ科目			
		共感的理解力		本質を探求する力		実践的問題解決力			
		4	24	10	24	10	18		
	初等教育専攻	人と人との関係を理解する科目		人と人の共生を学ぶ科目		人と人を結ぶ方法を学ぶ科目			
		共感的理解力		本質を探求する力		実践的問題解決力			
		4	24	10	24	10	18		
	中等教育専攻	人と人との関係を理解する科目		人と人の共生を学ぶ科目		人と人を結ぶ方法を学ぶ科目			
		共感的理解力		本質を探求する力		実践的問題解決力			
		4	24	10	24	10	18		
健康科学部	保健看護学科	看護の基礎を築く科目							
		学び続ける力		看護者として倫理を追求する力		看護とは何かを考える力		看護の対象を理解する力	
		8	2	8	4	11	2	30	9
		看護の実践力を高める科目							
		対象者中心の看護を探求する力		対象者中心の看護を実践する力		多様な場で協働する力			
		24	7	22	1	4	4		
	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻)	リハビリテーションの基礎について学ぶ科目							
		人体の構造・機能・運動及び心身の発達を理解する力		疾患と障害の成り立ちと回復促進過程を理解する力		リハビリテーションを理解する力		理学療法を探求する力	
		14	1	14	0	5	0	9	0
		理学療法を構築する科目							
		マネジメントする力		対象者の状況を捉える力		理学療法の技術を実践する力		地域で理学療法実践する力	
		2	0	7	0	21	0	3	0
	リハビリテーション学科 (作業療法学専攻)	理学療法を構築する科目							
		多様な理学療法を実践する力		実践における知識・技術・態度を活用する力		臨床現場で理学療法を実践する力		理学療法の実践力を発展させるための力	
		2	4	10	0	20	0	1	7
		リハビリテーションの基礎について学ぶ科目							
		人体の構造・機能・運動及び心身の発達を理解する力		疾患と障害の成り立ちと回復促進過程を理解する力		リハビリテーションを理解する力		作業及び作業療法を理解する力	
		13	2	14	0	5	0	7	1
	医療経営管理学科	作業療法の実践力を高める科目							
		マネジメントする力		対象者の状況を幅広く捉える力		各実践領域で作業療法を実践する力		地域リハビリテーションを実践する力	
		2	0	6	0	20	0	4	0
		作業療法の実践力を高める科目							
		作業療法を探求する力		臨床の場で知識・技術・態度を活用する力		対象者の状況に応じて適切に作業療法を実践できる力		作業療法の実践力を発展させるための力	
		4	5	10	0	25	0	0	8
	応用福祉学連係教育課程	健康を支える社会のしくみを学ぶ科目		身体・こころのしくみや身近な病気を理解する科目		数字に基づく分析力を養う科目		対応力を養う科目	
		課題発見力		健康新理解力		数的分析力		危機管理力	
		6	12	4	14	4	14	2	13
		探求的に学ぶ姿勢と手法を養う科目							
		生涯学習力							
		6	4						

(4) 資格教育課程

指定された学部では、各種資格の科目も卒業単位科目として履修ができる。

(5) 実習科目

各種実習科目の履修条件及び方法に関しては、各学科が別に定める実習規程による。

(6) 地域貢献関連資格科目

総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程では、初級パラスポーツ指導員資格に関する必修科目及び中級パラスポーツ指導員資格に関する必修科目、総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程では、レクリエーション・インストラクター資格に関する必修科目として履修ができる。

(7) 補助科目

資格教育課程において、当資格の指定科目以外に、学修を補助するために履修できる。

(8) 多職種連携領域

社会において即戦力として活躍できる人材養成のため、連携科目を置く(別表12)。

(入学前の既修得単位等の認定)

第32条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に、大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目をわが国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目をわが国において履修する場合について準用する。
- 3 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。
- 4 前3項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学・転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(単位互換派遣学生)

第33条 本学の学生で仙台圏単位互換協定を締結した他の大学及び短期大学の授業科目を履修し単位を修得した場合は本学の単位互換科目として認定する。但し、放送大学の授業科目を履修し単位を修得した場合は、本学で修得したものとみなすことができる。

- 2 本学の学生で国内留学に関する単位互換協定又は学生交流協定を締結した他の大学及び短期大学の授業科目を履修し単位を修得した場合は、本学で修得したものとみなすことができる。
- 3 単位互換派遣学生の規程については、別に定める。

(教育職員免許状授与の所要資格の取得)

第34条 教育職員の普通免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要資格を修得しなければならない。

2 本学の学部・学科等において当該所要資格を取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりである。

学 部	学 科	教育職員免許状の種類 (教科)
総合福祉学部	社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状 (福祉)
	福祉心理学科	養護教諭一種免許状
教育学部	初等教育専攻	幼稚園教諭一種免許状
		小学校教諭一種免許状
		特別支援学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状 (社会)
	中等教育専攻	高等学校教諭一種免許状 (地理歴史)
		高等学校教諭一種免許状 (公民)
		中学校教諭一種免許状 (英語)
		高等学校教諭一種免許状 (英語)
		特別支援学校教諭一種免許状

- 3 総合福祉学部社会福祉学科の学生で、高等学校教諭一種免許状(福祉)を得ようとする者は、別表20の教育課程における科目を修めて卒業しなければならない。
- 4 総合福祉学部福祉心理学科の学生で、養護教諭一種免許状を得ようとする者は、別表21の教育課程における科目を修めて卒業しなければならない。
- 5 教育学部教育学科(初等教育専攻)の学生で、幼稚園教諭一種免許状及び小学校教諭一種免許状を得ようとする者は、それぞれ別表22及び別表23の教育課程における科目を修めて卒業しなければならない。
- 6 教育学部教育学科(中等教育専攻)の学生で、中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)、高等学校教諭一種免許状(公民)、中学校教諭一種免許状(英語)及び高等学校教諭一種免許状(英語)を得ようとする者は、それぞれ別表24、別表25、別表26、別表27、別表28の教育課程における科目を修めて卒業しなければならない。
- 7 教育学部教育学科(幼保コースを除く。)の学生で、特別支援学校教諭一種免許状を得ようとするものは、別表29の教育課程における科目を修めて卒業しなければならない。
- 8 司書教諭の資格を得ようとする者は、教育職員免許法による小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を取得し、学校図書館法第5条第4項並びに文部科学省令により本学が定める司書教諭に関する科目及び単位(別表30)を修得しなければならない。

(各種資格の取得)

- 第35条** 総合福祉学部の学生で社会福祉士の国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士の指定科目(別表13)を修めて卒業しなければならない。
- 2 総合福祉学部の学生で社会福祉士の短期養成施設に入所する者は、社会福祉士の基礎科目(別表14)を修めて卒業しなければならない。
 - 3 総合福祉学部の学生で精神保健福祉士の国家試験受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士の指定科目(別表15)を修めて卒業しなければならない。
 - 4 総合福祉学部の学生で精神保健福祉士の短期養成施設に入所する者は、精神保健福祉士の

基礎科目(別表16)を修めて卒業しなければならない。

- 5 保育士の資格(総合福祉学部社会福祉学科、教育学部教育学科初等教育専攻)を得ようとする者は、本学が定める保育士資格に関する専門科目及び単位(社会福祉学科は別表17、教育学科は別表18)を修得しなければならない。
- 6 総合福祉学部社会福祉学科の学生で介護福祉士の国家試験受験資格を得ようとする者は、別表19に定める科目及び単位数を修め卒業しなければならない。
- 7 総合福祉学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で介護職員初任者研修修了の資格を得ようとする者は、本学が定める介護職員初任者研修の課程に関する科目及び単位(別表37)を3年次までに修得しなければならない。
- 8 総合福祉学部・教育学部教育学科中等教育専攻・健康科学部医療経営管理学科の学生で司書の資格を得ようとする者は、図書館法第5条第1項第1号により本学が定める司書資格に関する科目及び単位(別表31)を修得しなければならない。
- 9 総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で社会福祉主事の任用資格を得ようとする者は、社会福祉主事任用資格に関する科目(別表32)に定める科目を修めて卒業しなければならない。
- 10 総合福祉学部・共生まちづくり学部・応用福祉学連係教育課程の学生で身体障害者福祉司の任用資格を得ようとする者は、身体障害者福祉司任用資格に関する科目(別表33)に定める科目を修めて卒業しなければならない。
- 11 総合福祉学部・応用福祉学連係教育課程の学生で知的障害者福祉司の任用資格を得ようとする者は、所定の科目を修得したうえで総合福祉学部・応用福祉学連係教育課程を卒業しなければならない。
- 12 総合福祉学部・教育学部・応用福祉学連係教育課程の学生で児童指導員の任用資格を得ようとする者は、総合福祉学部・教育学部・応用福祉学連係教育課程を卒業しなければならない。
- 13 総合福祉学部福祉心理学科の学生で公認心理師の国家試験受験資格を得ようとする者は、本学が定める公認心理師資格に関する科目及び単位(別表34)を修得し卒業後、公認心理師養成課程のある大学院等を修了する等しなければならない。
- 14 総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で(公財)日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者資格「初級パラスポーツ指導員」の資格を得ようとする者は、(別表35)に定める科目を修めて卒業しなければならない。ただし、卒業までに2年以上の指導経験を有する(中級パラスポーツ指導員の資格取得条件の修得のため)については、必要な科目的履修修了後に所定の手続きをすることによって、初級パラスポーツ指導員資格を修得できる。
- 15 総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で(公財)日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者資格「中級パラスポーツ指導員」の資格を得ようとする者は、1年次に初級パラスポーツ指導員資格を修得し、2年次以降で(別表36)に定める科目を修め、卒業までに3年間、計80時間以上の指導経験を積み卒業しなければならない。
- 16 総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生でレクリエーション・インストラクターの資格を修得するためには、「レクリエーション・インストラクター資格取得に関する認定専門科目」(別表38)により本学の3年次又は4年次のうち、1年間で指定科目を修得しなければならない。
- 17 健康科学部保健看護学科の学生で、看護師の国家試験受験資格を取得するためには別表8に定める科目及び単位を修得し卒業しなければならない。また、保健師及び助産師の国家試験受験資格を取得するためには「保健師国家試験受験資格に関する科目」(別表47)、「助産師国家試験受験資格に関する科目」(別表48)に定める所定の選択科目及び単位を修得しなければならない。
- 18 健康科学部リハビリテーション学科の学生で、理学療法士の国家試験受験資格を取得す

るためには別表9-①、作業療法士の国家試験受験資格を修得するためには別表9-②に定めるそれぞれの科目及び単位を履修方法にしたがって修得し卒業しなければならない。

- 19 総合福祉学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で、福祉用具専門相談員の資格を修得するためには、「福祉用具専門相談員資格に関する科目」(別表39)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 20 総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で臨床美術課程を履修する者は、「臨床美術課程に関する科目」(別表40)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 21 総合福祉学部・共生まちづくり学部・応用福祉学連係教育課程の学生で社会貢献活動支援士課程を履修する者は、「社会貢献活動支援士課程に関する科目」(別表41)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 22 総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程の学生で、デジタルコンテンツアセッサの資格を得ようとする者は、「デジタルコンテンツアセッサ課程に関する科目」(別表42)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 23 健康科学部医療経営管理学科の学生で、救急救命士の国家試験受験資格を得ようとする者は、「救急救命士国家試験受験資格に関する科目」(別表43)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 24 総合福祉学部社会福祉学科の学生で、「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程」を履修しようとする者は、「スクールソーシャルワーク教育課程に関する科目」(別表44)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 25 健康科学部医療経営管理学科に入学し、応用福祉学連係教育課程の教育課程を履修する学生で、健康運動実践指導者の資格を得ようとする者は、「健康運動実践者課程に関する科目」(別表45)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 26 健康科学部医療経営管理学科の学生で、診療情報管理士の受験資格を得ようとする者は、「診療情報管理士課程に関する指定科目」(別表46)を修めなければならない。

(単位数の算定基準)

第36条 各授業科目的単位数は、1単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもって1単位とすることができます。
 - (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与及び学内単位互換)

第37条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 授業科目の履修並びに試験に関する規程は別に定める。

- 3 通学課程において修得した単位と通信教育課程において修得した単位は相互に転換することができる。
- 4 前項の学内単位互換に関する規程は別に定める。

(成績)

第38条 授業科目の試験の成績は、秀・優・良・可・不可の5種の評語をもって表し、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。

第4節 休学・復学・転学・留学・退学及び除籍

(休学)

第39条 疾病その他特別の理由により、3カ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

(休学期間)

第40条 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は通算して4年を越えることはできない。
- 3 休学期間は第18条の在学年限には算入しない。

(復学)

第41条 休学期間にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。復学の許可を得た者は、原年次に帰属する。

- 2 休学者が休学期間を過ぎても、復学・退学・休学の延長願を提出せず、許可を得なかつた場合、学長は復学とみなし第62条に定める学費を徴収することができる。

(転学)

第42条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第43条 外国の大学で修学することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は第18条に定める在学期間に含めることができる。
- 3 海外留学に関する規程は別に定める。

(退学)

第44条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第45条 次の各号の一に該当する者は教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 正当な理由がなく授業科目の履修を怠った者
- (2) 所定の期日以降3カ月授業料の納付を怠った者
- (3) 第18条に定める在学年限を越えた者
- (4) 第40条第2項に定める休学期間を越えて、なお修学できない者

第5節 卒業及び学士学位

(卒業)

第46条 本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位数を取得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 第3学年次修了時の卒業判定時までに卒業に必要な単位を修得し、別に定める基準に基づいて、特に優秀な成績を修めたと認定された者については、第3学年次修了時に卒業を認めることができる。なお、早期卒業に関する規程は別に定める。
- 3 卒業時の通算GPAが1.50未満の場合は、卒業認定試験を受け、合格しなければならない。GPAについては、別に定める。
- 4 学長は卒業を認定した者に対して学位記・卒業証書を授与する。

(学士学位)

第47条 卒業した者には、次の区分に従い、学士学位を授与する。

学部	学科	学位名称
総合福祉学部	社会福祉学科	学士(社会福祉学)
	福祉心理学科	学士(福祉心理学)
	福祉行政学科	学士(福祉行政学)
共生まちづくり学部	共生まちづくり学科	学士(産業福祉学)
教育学部	教育学科	学士(教育学)
健康科学部	保健看護学科	学士(看護学)
	リハビリテーション学科	学士(リハビリテーション学)
	医療経営管理学科	学士(医療経営管理学)
応用福祉学連係教育課程		学士(応用福祉学)

第6節 賞罰

(表彰)

第48条 学生及び本学学生を構成とする団体で表彰に値する行為があったものは、教授会の議を経て学長が表彰することができる。

(特待生)

第49条 全学の成績上位3%以内の学生のうち学術優秀、品行方正の者を選考の上、特待生とし授業料の全部又は一部を免除することができる。

(懲戒)

第50条 学生で本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒を行う。

- 2 懲戒の種類は退学・停学・譴責とする。

-
- 3 前二項の懲戒に関し、必要な事項は別に定める。

第7節 厚生補導

(厚生補導)

- 第51条** 大学は学生の厚生補導に関して助言指導を行う。

- 2 前項の厚生補導の運営等に関する規程は別に定める。

(厚生施設及び保健)

- 第52条** 本学に厚生施設を置く。

- 2 前項の厚生施設の運営等に関する規程は別に定める。

- 3 每学年定期に学生及び教職員の健康診断を行う。

第8節 委託生・研究生・聴講生・科目等履修生・特別科目等履修生・単位互換学生及び外国人留学生等

(委託生)

- 第53条** 官公庁・法人・外国政府及び他の大学等から委託された学生は、教授会の議を経て、学長は委託生として入学を許可することができる。

- 2 委託生に関する規程は別に定める。

(研究生)

- 第54条** 本学に研究生を受け入れることができる。

- 2 研究生は本学の卒業生又は同等以上の資格を有する者で、研究生を志願する者は、事前に指導教員の承諾を得た上、教授会の議を経て、学長によって入学を許可された者をいう。

- 3 研究生に関する規程は別に定める。

(聴講生)

- 第55条** 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考の上、教授会の議を経て、学長は聴講生として入学を許可することができる。

- 2 聴講生に関する規程は別に定める。

(科目等履修生)

- 第56条** 本学所定の授業科目中、総合福祉学部、共生まちづくり学部、教育学部及び応用福祉学連係教育課程の特定の科目について履修を希望する者があるときは、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することができる。

- 2 科目等履修生は、その履修した科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、授業科目所定の単位を与える。

- 3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

(特別科目等履修生)

- 第56条の2** 本学通信教育部の正科生で通学課程の授業の履修を許可された者を特別科目等履修生とする。

- 2 特別科目等履修生に関する規程は別に定める。

(単位互換学生)

- 第57条 仙台圏単位互換協定を締結した他の大学及び短期大学並びに高等専門学校の学生で本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学との協議に基づき、単位互換学生として履修を許可することができる。
- 2 国内留学に関する単位互換協定又は学生交流協定を締結した他の大学及び短期大学並びに高等専門学校の学生で本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学との協議に基づき、国内留学単位互換学生として履修を許可する。
- 3 単位互換学生の規程については、別に定める。

(外国人留学生・交換留学生)

- 第58条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。
- 2 外国人留学生の入学に関する規程は別に定める。
- 3 交換留学生については、本学と外国の大学又はそれに相当する高等教育機関との学生の留学に関する交流協定に基づき、学生を交換留学生として双方で受入ないしは派遣することがある。
- 4 交換留学生に関する規程は別に定める。

(準用規程)

- 第59条 委託生・研究生・聴講生・科目等履修生・特別科目等履修生・単位互換学生・外国人留学生及び交換留学生には、別段の規定がない限り学生に関する規程を準用する。

第9節 学 費

(学 費)

- 第60条 入学検定料・入学金・授業料・施設設備資金・教育環境整備費・厚生費等は、別添2のとおりとする。

(課程履修費、任意の実験実習費等)

- 第61条 前条の他、資格取得のための課程履修費及び実験実習費等を別途徴収する。

(復学等の場合の学費)

- 第62条 復学を許可された学生の学費は、その者の入学年次に定められた学費をスマイルドさせた金額とする。

(学年の中途で卒業する場合の学費)

- 第63条 卒業年次以降の学年中途で卒業する見込の者は、当該期間の学費を納付するものとする。

(退学及び停学等の場合の学費)

- 第64条 学年の中途で退学し、又は除籍された者の当該期間の学費は徴収する。
- 2 停学期間中の学費は徴収する。

(休学の場合の学費)

- 第65条 休学を許可され、又は命ぜられた者については、休学期間中は在籍料を納

付しなければならない。ただし、学期の途中で休学する場合は、その期の所定の学費は納入しなければならない。

2 在籍料は別に定める。

(委託生・研究生・聴講生・科目等履修生・特別科目等履修生・外国人留学生等の学費)

第66条 委託生・研究生・聴講生・科目等履修生・特別科目等履修生・外国人留学生・交換留学生の入学検定料及び学費等については別に定める。

(納付した学費等)

第67条 納付した学費等の返戻に関しては、消費者契約法及び関係法規に基づき処理する。

第10節 公開講座

(公開講座)

第68条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

第11節 雜 則

(細 則)

第69条 この学則に必要な細則は別に定める。

附 則

附 則

1. この学則は昭和37年4月1日より施行する。
2. この学則は昭和40年4月1日より施行する。
3. この学則は昭和45年4月1日より施行する。
4. この学則は昭和46年4月1日より施行する。
5. この学則は昭和47年4月1日より施行する。
6. この学則は昭和48年4月1日より施行する。
7. この学則は昭和49年4月1日より施行する。
8. この学則は昭和50年4月1日より施行する。
9. この学則は昭和51年4月1日より施行する。
10. この学則は昭和52年4月1日より施行する。
11. この学則は昭和53年10月1日より施行する。
12. この学則は昭和54年4月1日より施行する。
13. この学則は昭和55年4月1日より施行する。
14. この学則は昭和56年4月1日より施行する。
15. この学則は昭和57年4月1日より施行する。
16. この学則は昭和58年4月1日より施行する。
17. この学則は昭和59年4月1日より施行する。
18. この学則は昭和63年4月1日より施行する。
19. この学則は平成元年4月1日より施行する。
20. この学則は平成2年4月1日より施行する。
21. この学則は平成3年4月1日より施行する。

22. この学則は平成4年4月1日より施行する。
23. この学則は平成6年4月1日より施行する。
24. この学則は平成7年4月1日より施行する。
25. この学則は平成9年4月1日より施行する。
26. この学則は平成10年4月1日より施行する。
27. この学則は平成12年4月1日より、①社会福祉学部の名称を総合福祉学部に変更するため、②社会福祉学科及び福祉心理学科の収容定員を変更するため、③情報福祉学科の設置にともない、施行する。なお、平成11年度までに入学した学生は従前によるものとする。
28. この学則は平成13年4月1日より、①社会福祉学科に教育職員免許状「福祉」、情報福祉学科に教育職員免許状「情報」を設置にともない、②学都仙台単位互換ネットワークを設置にともない、施行する。なお、平成12年度までに入学した学生も平成13年4月開設の「福祉」・「情報」の教育職員免許状の科目履修を認める。
29. この学則は平成14年4月1日より、①学則第3条総合福祉学部に通信教育部社会福祉学科、社会教育学科、福祉心理学科を設置、②学則第26条(編入学・転入学)に(5)を設けて、専修学校の専門課程からの編入学を可能にした。③社会福祉学科の保育士課程が「児童福祉法施行規則第39条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法」(平成13年厚生労働省告示第198号)により平成14年4月から適用されることにより、第30条(授業科目)2、(9)保育士資格に関する科目(別表18)を改正して平成14年度入学者から適用して施行する。④第30条(授業科目)2、(9)(財)日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者資格(イ)初級障がい者スポーツ指導員資格に関する科目(別表39)を改正する。ただし、平成13年度までに入学した学生は従前によるものとする。
30. この学則は平成15年4月1日より、①総合福祉学部社会福祉学科に介護福祉士課程を設置するにともない、②学則第30条(授業科目)-2、(2)外国語科目(別表2)に「ハングル講座I(コミュニケーションを含む)～VI」「中国語I(コミュニケーションを含む)～VI」を新設するにともない、③学則第30条(授業科目)-2、(9)保育士資格に関する科目(別表18)に「ハングル講座I(コミュニケーションを含む)～VI」「中国語I(コミュニケーションを含む)～VI」を新設するにともない、④学則第30条(授業科目)-2、(12)(イ)教職に関する科目の教育職員免許法施行規則第66条の5に定める科目(別表21)に「ハングル講座I(コミュニケーションを含む)～VI」「中国語I(コミュニケーションを含む)～VI」を新設するにともない、⑤第30条(授業科目)の2(20)訪問介護員養成2級課程修了に関する指定専門科目(別表41)を新設するにともない、改正施行する。ただし、平成14年度までに入学した学生は従前よることとする。
31. この学則は平成16年4月1日より、①第20条(入学資格)の変更にともない、②第30条(授業科目)(22)レクリエーション・インストラクター資格取得に関する科目の設置、③(23)臨床美術士資格取得に関する科目の設置、④(24)感性デザイン課程に関する科目の設置及び第56条の2に特別科目等履修生制度を設置することにより改正し、全学年に施行する。
32. この学則は平成17年4月1日より、①福祉心理学科に教育職員免許状「養護教諭1種普通免許状」を設置することにより、②第30条(授業科目)の2、(12)(リ)養護教諭1種普通免許状の養護に関する科目の設置、③第34条(教員免許状授与の所要資格取得)の2を変更し、施行する。なお、平成16年度までに入学した学生も、平成17年度4月開設の「養護教諭1種普通免許状」の教育職員免許状の科目履修を認める。さらに、④第30条(授業科目)の2、(33)臨床美術士資格取得に関する科目(別表43)の削除、⑤第30条(授業科目)の2、(25)福祉観光課程に関する科目の設置、⑥第30条(授業科目)の2、(26)スポーツマネジメント課程に関する科目の設置、⑦第30条(授業科目)の2、(27)臨床美術課程に関する科目の設置、⑧第30条(授業科目)の2、(28)異文化コミ

ユニケーション課程に関する科目の設置、⑨福祉観光課程・スポーツマネジメント課程・臨床美術課程・異文化コミュニケーション課程の設置に伴い第35条(各種資格の取得)に(22)～(25)を追加変更し、施行する。なお、④～⑨については、平成17年度入学生から適用し、平成16年度までに入学した学生は従前によるものとする。

33. この学則は平成18年4月1日より、新学部創設にともない、①第1条(目的、使命)を修正し、②学内組織の見直し(第5条、第9条、第10条、第13条)等をはかった。さらに、③第3条(学部)子ども科学部子ども教育学科、健康科学部保健看護学科の設置、④第30条(授業科目)の2、(1)基礎教養(別表1)、及び(2)外国語科目(別表2)の科目と履修方法の変更、⑤第30条の2、(4)～②子ども科学部の専門教育科目(別表17)の設置、⑥第30条(授業科目)の2、(4)～③健康科学部の専門教育科目(別表18)の設置、⑦第30条(授業科目)の2、(9)～②子ども科学部子ども教育学科に保育士資格に関する科目を設置、⑧第30条(授業科目)の2、(12)～①子ども科学部に教職に関する科目(別表37-①)(別表37-②)の設置、⑨第30条(授業科目)の2、幼稚園教諭1種普通免許状に関する科目・教科又は教職に関する科目(別表38-①、2種は別表38-②)及び小学校教諭1種普通免許状に関する科目・教科又は教職に関する科目(別表39-①、2種は別表39-②)を設置する。⑩第31条(履修方法)、(4)～②子ども科学部子ども教育学科及び(4)～③健康科学部保健看護学科の履修方法を規定する。⑪第34条(教員免許状授与の所要資格の取得)の2、子ども科学部に教育職員免許状「幼稚園教諭1種普通免許状」、「幼稚園教諭2種普通免許状」、「小学校教諭1種免許状」、「小学校教諭2種免許状」の設置、⑫第35条(各種資格の取得)の5、保育士資格に子ども科学部子ども教育学科を追加し、保育士資格の取得を可能とする。⑬さらに、第35条(各種資格の取得)の20、健康科学部保健看護学科において、看護師及び保健師の国家試験受験資格の取得を可能とする。⑭そのための授業科目を第30条(授業科目)2、に設置する。⑮第47条、学士学位の授与に子ども科学部子ども教育学科に「学士」(教育学)、健康科学部保健看護学科に「学士」(看護学)を追加する。⑯第60条(学費)、子ども科学部と健康科学部の入学検定料・入学金・授業料・施設設備資金・厚生費・後援会等を新たに設定する。ただし、平成17年度までに入学した学生は従前によるものとする。

34. この学則は平成19年4月1日より、大学の教員組織の変更にともない、①第9条(教職員)において従来の「助教授」を「准教授」に名称を変更し、「助教」を新設して施行する。また、特殊教育教員免許課程が、特別支援学校教員免許課程に移行するにともない、②第34条(教員免許状授与の所要資格の取得)の2及び6において、社会福祉学科に設置されている「養護学校教諭1種普通免許状の教科に関する科目」を「特別支援学校教諭1種免許状の教科に関する科目」へ再編成して施行する(別表28)。③従来の「基礎教養科目」「外国語科目」「健康とスポーツ科目」を再編し、「総合基礎科目」(別表1-①)を導入するとともに、各学科の科目を再編・再構成する(第31条、第32条)。ただし、健康科学部は従前のとおりとする。④総合福祉学部情報福祉学科に2コース(情報応用コース、総合情報コース)を設置する(第30条(授業科目)2の(2)5の(イ)、(ロ))。⑤総合福祉学部の副専攻に「減災・予防福祉課程」を追加する。

35. この学則は、平成20年4月1日より、①総合福祉学部産業福祉学科及び情報福祉学科を、総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科及び情報福祉マネジメント学科に独立・改組し、②健康科学部に新たにリハビリテーション学科(作業療法学専攻、理学療法学専攻)と医療経営管理学科を設置するとともに、③それにともなう収容定員の見直しを行い施行する(第3条)。なお、④第30条(授業科目)2の(1)、総合基礎科目(別表1)を全学部共通科目として配置するとともに、(2)専門教育科目に新学部新学科の授業科目と第31条(履修方法)に履修方法をそれぞれ追加する。さらに、健康科学部保健看護学科の関連科目に授業科目を追加する(別表8)。また、⑤第34条(教員免許状授与の所要資格の取得)について、従来の「産業福祉学科」に設置されていた中学校教諭一種普通免許状(社会)、高等学校教諭一種普通免許状(公民)及び「情報福祉学科」に設置され

ていた高等学校教諭一種普通免許状（情報）の教員免許状を取り下げる。⑥産業福祉学科食品衛生コースに設置されていた食品衛生監視員及び食品衛生管理者の任用資格を取り下げる。⑦附属研究所・センター等に「キャリア推進センター」「次世代育成センター」「PCサポートセンター」を増設する（第5条）。⑧大学設置基準等の一部を改正する省令に伴い学部学科の教育研究上の目的を明確にした（第3条の4）。

36. この学則は平成21年4月より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更にともない、①保健看護学科のカリキュラム・履修方法の一部変更及び卒業単位の変更（いずれも学則第31条、学則別表8）を行い施行する。また、「社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律（平成19年法律第125号）」により、①資格取得のための履修科目を見直し、社会福祉士、精神保健福祉士及び介護福祉士養成の新しい教育課程を編成する（別表11）（別表12）（別表13）（別表14）（別表17）。②それらにともなって、社会福祉学科の教育課程も再編成する（別表2）。③社会福祉士及び介護福祉士、精神保健福祉士養成課程において定員を設ける（第35条）。さらに、「福祉科一種普通免許状」の「教科又は教職に関する科目」の内容を変更する。なお、本学に付属病院としてせんだんホスピタルを置く（学則第7条、第9条）。学則本文（学則第60条）中の学費明細表を、別添2として本中から分離する。
37. この学則は、平成22年4月より①組織改組し、「社会貢献センター」を置く（第5条）。②教育職員免許法の一部改正にともない、教職に関する科目である「総合演習」を「教職実践演習」に変更（別表19）（別表26—①）（別表26—②）して施行する。また、③「異文化コミュニケーション課程」、「減災・予防福祉課程」の廃止と「社会貢献支援士課程」の設置にともない、第30条（授業科目）2（28）、第31条（履修方法）（3）、第35条（各種資格の取得）26を追加変更する。さらに、④「総合基礎科目」を再編（別表1）するとともに、総合福祉学部の各学科と子ども科学部子ども教育学科の教育課程を見直し（別表2）（別表3）（別表4）（別表7）、総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科に専門科目を追加（別表5）する。⑤保育士資格に関する科目（別表15）（別表16）を再編し、特別支援学校教諭一種免許状の教科に関する科目（別表21）、幼稚園教諭一種免許状及び小学校教諭一種免許状の教職に関する科目（別表26—①）（別表26—②）、幼稚園教諭一種免許状及び小学校教諭一種免許状に関する科目（別表27—①）（別表27—②）（別表28—①）（別表28—②）をそれぞれ見直し施行する。
38. この学則は、平成23年4月より①専門基幹科目にリエゾン群（L群）を新設する（健康科学部を除く）ことにともない、「総合基礎科目」（別表1-①、別表2-②）及び各学科の教育課程（別表2、別表3、別表4、別表5、別表6、別表7）を変更し施行する。また、②「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」の一部改正により、「保育士資格に関する科目」（別表15及び別表16）を変更する。それにともない、③教員免許状取得のための科目を一部変更する（別表26-①、別表26-②、別表27-①、別表27-②、別表28-①、別表28-②）。④総合福祉学部社会福祉学科社会福祉コース（保育士課程履修）の学生の幼稚園教諭一種普通免許状の取得を可能とする（第34条9）。⑤教育職員免許法施行規則の一部改正にともない、「福祉」の教科に関する科目・単位数及び履修方法（別表20）を変更して施行する。⑥総合福祉学部社会福祉学科と福祉心理学科において、福祉用具専門相談員の資格取得を可能とし、第35条（各種資格の取得）に（20）として追加する（別表41）。さらに、⑦休学の場合（第65条）の学費を変更して施行する。
39. この学則は、平成24年4月より、①総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科及び情報福祉マネジメント学科のカリキュラムの一部を変更する（学則別表5、6）。②全学部学科へのリエゾン系科目の導入に伴い、健康科学部における総合基礎科目及び履修方法を変更する（別表1）とともに、健康科学部保健看護学科、リハビリテーション学科、医療経営管理学科のカリキュラム・履修方法の一部を変更する（別表8、9-①、9-②、学則第31条）。③また、保健看護学科において、保健師受験資格を選択制とし（学則第35条の18）、卒業単位を変更する（学則第31条）。④精神保健福祉士法施行規則等の改正によ

り、精神保健福祉士受験資格に関する指定専門科目及び精神保健福祉士受験資格に関する基礎科目を見直し（別表13、14）、社会福祉士受験資格に関する指定専門科目の一部を見直す（別表11）とともに、社会福祉学科並びに福祉心理学科のカリキュラムを一部変更する（別表2、4）。⑤さらに第一種衛生管理者免許に関する科目（別表18）の一部を変更し、図書館司書養成科目及び学芸員養成科目の改正により、図書館司書資格に関する専門科目（別表30）及び博物館学芸員資格に関する専門科目（別表31）を見直すとともに、社会福祉学科、社会教育学科、福祉心理学科のカリキュラムを一部変更する（別表2、3、4）。⑥介護福祉士の資格取得の変更により、「資格」から「受験資格」と変更（学則第35条6）及び科目を追加し（別表17）、⑦学生表彰の対象に学生団体を追加する（学則第48条）変更、⑦学則第31条に（4）を追加し、施行する。

40. この学則は、平成25年4月より、①入学前の既修得単位等の認定において、「他の大学又は短期大学における授業科目の履修等」及び「大学以外の教育施設等における学修」を明文化（学則第32条）、②防災・減災に関連する科目を移動・配置（学則別表1-1、2、3、4、5、6、7）、③精神保健福祉士受験資格に関する指定専門科目の履修年次及び単位数の一部変更（別表2、4、14）、④総合福祉学部社会福祉学科及び子ども科学部子ども教育学科の専門教育科目（専門基幹科目L群）（別表2、7）並びに保育士資格に関する科目（別表15、16）の一部変更、⑤教育実習の単位変更（別表2、3、19）、⑥訪問介護員2級に関する科目の廃止及び介護職員初任者研修に関する科目の設置（別表39）、それに伴う福祉科の教科又は教職に関する科目の一部変更（別表20）、⑦社会貢献活動支援士に関する科目の一部変更（別表48）をし、施行する。

41. この学則は、平成26年4月より、①第1条の目的、使命を一部変更（学則第1条）し、総合基礎科目を全学共通（学則別表1）とするとともに、全学科に地域共創関連科目を専門基幹科目に配置する（学則別表2～8、9-①、9-②、10）。同時に、健康科学部保健看護学科、リハビリテーション学科及び医療経営管理学科に防災・減災関連科目を配置する（学則別表8、9-①、9-②、10）。履修方法に地域貢献関連資格科目を位置づける（学則第31条（5））。また、保育士資格に関する科目の一部を追加し（学則別表15及び16）、さらに特別支援学校教諭一種免許状の教科に関する科目の一部変更（別表21）、及び副専攻に「デジタルコンテンツアセッサ課程」を設置し（学則第31条（3））、授業科目（学則別表49）及び各種資格の取得（学則第35条26）にそれぞれ追加変更する。さらに学内単位互換の規程を追加して実施する（学則第37条第4項）。②第5条（付属研究所・センター等）の地域連携を充実させるため社会貢献センターを社会貢献・地域連携センターに改組するとともに、経営情報・教育情報の調査分析等を行うIRセンターを新たに設置する。③GPA制度を導入するにあたり、第38条（成績）を4種の評語（優・良・可・不可）から5種の評語（秀・優・良・可・不可）に変更し施行する。④第46条（卒業）の条件を授業科目及び単位数取得から、授業科目及び単位数、GPA制度も導入して認定するに変更し施行する。⑤第41条では、休学期間完了後の学費について、事項を追加するとともに、第45条（除籍）においては、除籍の条件を追加し、一部を削除する。⑥第65条（休学の場合の学費）学期途中での学費に関する事項を追加し、変更施行する。なお、平成25年度までに入学した学生は従前によるものとする。

42. この学則は、平成27年4月より、①学部・学科再編に伴い、総合福祉学部社会教育学科を廃止し、福祉行政学科を設置。子ども科学部子ども教育学科を廃止し、教育学部教育学科初等教育専攻・教育学科中等教育専攻を設置。さらに、総合福祉学部社会福祉学科の入学定員を300名から400名に変更、新たに2学科の設置のため入学定員を1,100名から1,300名にするとともに、収容定員も4,400名から5,200名に変更施行する。また、産業福祉学科を廃止する（学則第3条）。②教職員職階の学長補佐を廃止し、副学長を置く（学則第9条）。③教授会組織及び審議事項の内容を変更する（学則第11条及び第13条）。④長期履修学生の規定（学則第17条の2）を追加する。⑤総合基礎教育科目を変更するとともに、地域共創科目を全学科の教育課程に置く（学則別表1及び2～10）。保育士資格に関する

る科目（学則別表15、16）及び教育職員免許状に関する科目（学則別表19～26）を再編成する。⑥副専攻としてデジタルコンテンツアセッサ課程に関する科目を変更する（学則別表46）とともに、救急救命士課程に関する科目を置き（学則別表47）、社会福祉学科にスクールソーシャルワーカーに関する科目を配置する（学則別表48）。それに伴い、これらの資格を各種資格に追加する（学則第35条）。⑦教育課程の変更により、履修方法を変更する（学則第31条）。⑧各学部学科での教員免許状授与の所要資格取得を変更する（学則第34条）。⑨学部学科改組により、学士学位の名称を変更する（学則第47条）。⑩懲戒規程を変更する（学則第50条）。なお、平成26年度までに入学した学生は従前によるものとする。

43. 募集を停止していた情報福祉学科を廃止する。また、平成28年4月より教育学部教育学科中等教育専攻に特別支援学校一種普通免許取得に関する教育課程を設置する。なお、この学則は、平成27年度入学生より適用する。
44. この学則は、平成28年4月より、学則第33条の単位互換派遣学生及び学則第57条の単位互換学生の履修に対して規定を追加する。また、総合基礎教育課程を変更する（学則別表1-①、1-②）とともに、学科の専門教育課程を一部変更（学則別表2、3、4、5、6、7、10）し、履修方法も変更する（学則第31条）。それに伴い各種資格取得のための科目も変更する（学則別表17、19、20、28、31、33、36、46）。なお、平成27年度までに入学した学生は従前によるものとする。
45. この学則は、平成29年4月より、①通信教育部社会教育学科廃止に伴い学則第3条第1項第5号の一部変更、②総合基礎教育課程の一部を変更（学則第30条（1）、学別表1-①、1-②）するとともに、履修方法も変更する（学則第31条）。また、③卒業試験の名称を変更する（学則第46条）。④各学科の専門教育課程を一部変更する（学則別表2、3、4、5、6、10）⑤精神保健福祉士受験資格に関する指定専門科目（学則別表13）、レクリエーション・インストラクター資格に関する科目（学則別表37）、社会貢献活動支援士課程に関する科目（学則別表45）、デジタルコンテンツアセッサ課程に関する科目（学則別表46）、スクールソーシャルワーカーに関する科目（学則別表48）単位数及び履修年次の一部をそれぞれ変更する。さらに⑥総合マネジメント学部・健康科学部医療経営管理学科に「健康運動実践指導者に関する科目」を配置する（学則別表49及び学則第35条29）するため、学則の一部を変更し施行する。なお、平成28年度までに入学した学生は従前によるものとする。
46. この学則は、平成30年4月より、①健康科学部保健看護学科の入学定員を70名から80名に増員（学則第3条）し、②助産師国家試験受験資格を取得できる教育課程へと改編する（学則第35条18及び学則別表8）。また、③総合福祉学部福祉心理学科に公認心理師受験資格を取得できる教育課程へと改編する（学則本文第35条14及び学則別表4並びに学則別表33）。④総合基礎教育課程の科目を変更（学則別表1-①、学則別表1-②、学則別表1-③）し、社会福祉学科（学則別表2）、福祉行政学科（別表3）、産業福祉マネジメント学科（別表5）、情報福祉マネジメント学科（学則別表6）、医療経営管理学科（学則別表10）の教育課程をそれぞれ一部改正する。⑤資格に関する科目としては、第一種衛生管理者免許に関する専門科目（学則別表18）、高校福祉科一種普通免許状に関する教育課程（学則別表19）、養護教諭一種普通免許状に関する教育課程（学則別表20）、身体障害者福祉司任用資格に関する科目（別表31）、公認心理師国家試験受験資格に関する科目（学則別表33）、レクリエーション・インストラクター資格に関する科目（学則別表37）、スポーツマネジメント課程に関する科目（学則別表43）、臨床美術課程に関する科目（学則別表44）の科目を一部変更する。⑥キャリアと実践活動に関する科目を追加する（学則別表50）。さらに、特待生に関する基準を追加し（学則本文第49条）、交換留学生の規定（学則本文第58条の3及び4）を追加する。なお、平成29年度までに入学した学生は従前によるものとする。
47. 平成31年4月より、①「早期卒業」の規定を追加（学則本文第17条の2、第46条2）す

るとともに、「懲戒」規定の一部を変更する（学則本文第50条）。②「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」の一部改正、「児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業科目及び単位数並びに履修方法の一部を改正する件」に基づき、学則本文第30条（授業科目）における「保育士資格に関する科目」（学則別表15、16）及び学則別表2、7、7-①、7-②の一部を変更。③「社会福祉士学校及び介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針についての一部改正」に基づき、「介護福祉士受験資格に関する科目」（学則別表17）の一部を変更。④教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、「教育職員免許状に関する科目」を一部変更（学則別表19～26）。⑤総合基礎科目及び各学科の教育課程を一部変更し（学則別表1-①、1-②、2、3、4、5、6、7-①、7-②、10）、教育学科の履修方法を一部変更する（学則本文31条（2））。⑥「開放科目」を新設（学則別表46）。⑦副専攻の変更（学則本文31条（3））ことに伴い、副専攻教育課程学則別表39～43及び「各種資格の取得」から該当事項を削除するとともに、別表番号、項目番号を変更する。なお、平成30年度までに入学した学生は従前によるものとする。

48. この学則は、令和2年4月より、総合基礎教育科目を基盤教育科目として改編する（学則別表1-①）。また、平成30年5月付「文部科学省 厚生労働省令第四号理学療法士及び作業療法士法第14条の規定に基づき、『理学療法士作業療法士養成施設指定規則』の一部改正」が行われたことにより、健康科学部リハビリテーション学科カリキュラム・履修方法の一部変更を行う（学則別表9-①、9-②）。それに伴いリハビリテーション学科における基盤教育科目及び専門教育科目の履修方法を一部変更する（学則本文第31条）。なお、平成31年度（令和元年度）までに入学した学生は従前によるものとする。

49. この学則は、募集を停止していた子ども科学部子ども教育学科を廃止し、令和2年1月より一部を改正し施行する。

50. この学則は、令和2年4月より、総合基礎教育科目を基盤教育科目として改編する（学則別表1-①、健康科学部保健看護学科は従前のため別表1-②）とともに、各学科の履修方法を変更する（学則本文第31条（1））。また、平成31年4月5日付文部科学省の事務連絡に基づき、社会教育主事の養成課程の一部変更する（学則別表32）。これらの変更に伴い、各学科の専門教育課程（学則別表2～10）及び各種資格取得のための教育課程（学則別表15～17、19～25、28～32、40、41）並びに履修方法を一部変更する（学則本文第31条（2））。さらに、各種資格の取得に関して、救急救命士受験資格取得対象学科から福祉行政学科を削除する（学則本文第35条24）。なお、平成31年度（令和元年度）までに入学した学生は従前によるものとする。

51. この学則は、募集を停止していた総合福祉学部社会教育学科を廃止（学則本文3条）し、令和2年6月より一部改正施行する。

52. この学則は、令和3年4月より①教育学部教育学科中等教育専攻への中学校一種免許状（英語）及び高等学校一種免許状（英語）課程の設置（学則本文第34条、学則別表26、27）に伴い、教育課程（学則別表7、7-①、7-②、）及び履修方法（学則別表31）を一部変更する。さらに、新たな免許課程の設置とともに社会教育主任用資格の廃止に伴い、別表番号を変更する。②「社会福祉に関する科目を定める省令」及び「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令」に基づき、社会福祉士及び精神保健福祉士養成に係る開講科目を変更する（学則別表11～14）。それに従い、各学科の教育課程を見直す（学則別表2～4）とともに、「保育士資格に関する科目」（学則別表15、16）及び「介護福祉士受験資格に関する科目」（学則別表17）を一部変更する。③学則本文中の齟齬を修正する（学則本文第24条、第31条（3））。④学則本文中の各条文の見出しの位置を変更する（全条）。⑤学科の掲載順を「学校法人梅檀学園寄附行為」と統一する（第3、31、47条）。⑥免許状・資格・学科等の名称・字句を統一する（第30、31、34、35条）。⑦その他、字句・表現の統一をはかり明確になるように修正する（第2～8、10、12、13、17、20、31、36、40、51～54、56、58、59、61、66条）。なお、令和2年度までに入学した学生は従前によるものとする。

53. この学則は、令和4年4月より、①保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴い、保健看護学科のカリキュラム・履修方法の一部変更（新学則第30条・第31条）、②「民法の一部改正施行」に基づき、入学手続等関係提出書類の変更（新学則第23条）、保証人の保証に関する事項の変更（学則第24条）、③第一種衛生管理者資格の廃止（新学則第30条第3項第10号）、廃止により旧学則第30条第3項第11号から旧第30条第3項第29号を、新第30条第3項第10号から新第30条第3項第28号に変更、さらに旧学則別表19から旧学則別表47を新学則別表18から新学則別表46に変更、④教育課程の充実を図るため、開設科目の名称変更追加、削除の変更（新学則別表2・別表3・別表5・別表6・別表7・別表7-①・7-②・別表15・別表16・別表18～別表26・別表30・別表40・別表41）、⑤各種資格の取得で第一種衛生管理者資格取得に関する事項を廃止する。廃止に伴い旧学則第35条第9項から旧第35条25項を、新学則第35条第8項から新学則第35条24に変更する。⑥レクリエーション・インストラクター資格取得に関する認定専門科目（新学則別表37）において、新たに「看護学臨床実習」・「介護実習Ⅰ」の2科目を追加開講するとともに、7科目を削除し、開講科目を変更、⑦スクールソーシャルワーク教育課程に関する科目（新学則別表43）においては、スクールソーシャルワーカー資格取得に関する法改正の一部施行に基づき、開講科目を一部変更（令和3年度入学生より適用）、⑧委託生・研究生・聴講生・科目等履修生の入学選考を明確にするため一部条文の変更（新学則第53条・54条・55条・56条）、⑨附則に第53項を新設するため学則の一部を変更し、改正施行する。なお、令和3年度までに入学した学生は従前によるものとする。
54. この学則は、令和5年4月より、①大学設置基準改正に伴い、学年・授業期間の条文を一部変更（新学則第14条）、②授業科目及び各種資格の取得で学芸員資格取得に関する事項を廃止する（旧学則第30条第3項第13項・第35条第9項）。廃止に伴い旧学則第30条第3項14号から旧学則第30条第3項28号を、新学則第30条第3項13号から新学則第30条第3項27号に条文番号を変更する。さらに、旧学則第35条第10項から旧学則第35条第24項を、新学則第35条第9項から新学則第35条24項に条文番号を変更する。③学芸員資格取得に関する事項の廃止に伴い、旧学則別表30を削除し、旧学則別表31から旧学則別表46を、新学則別表30から新学則別表45に別表番号を変更する。④学芸員資格取得廃止に伴い、教育学科の授業科目の一部を削除及び新設（新学則別表7・7-①・②）。⑤教育職員免許法の一部改正に伴う事項名称の変更と、教育学科授業科目の変更により、教職課程（小学校教諭1種・中学校教諭1種（社会）・高等学校教諭1種（地理歴史・公民））の授業科目の一部を削除及び新設【新学則別表18～26】。⑥公益財団法人日本パラスポーツ協会の呼称変更により、初級及び中級障がい者スポーツ指導員名称を初級及び中級パラスポーツ指導員に資格名称変更のため、学則上の名称を変更（新学則第30条第3項16号、新学則第31条第1項（5）、新学則第35条第12項及び13項）、⑦附則に第54項を新設するため学則の一部を変更し、改正施行する。なお、令和4年度までに入学した学生は従前によるものとする。
55. この学則は、令和6年4月より①休業日の変更（旧学則第16条（3）本学創立記念日（9月25日）を削除し、旧学則第16条（4）・（5）・（6）を新学則第16条（3）・（4）・（5）に変更）、②学則第35条にて規定している資格に関する「定員を定める」という文言の削除と、学則第35条と学則別表の一部文言を削除変更、③介護福祉士課程教育の充実を図るために新規開講科目を開設する（学則別表2及び学則別表17）、④諸物価高騰と入学予定者の入学辞退抑制を図る目的で入学金を変更（学則第60条・別添2）、⑤附則に第55項を新設するため学則の一部を変更し、改正施行する。なお、休業日の変更を除いて令和5年度までに入学した学生は従前によるものとする。
56. (施行期日)
1) この学則は令和7年4月1日から施行する。なお、令和6年度までに入学した学生は従前によるものとする。

(学生募集の停止)

- 2) 総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科及び総合マネジメント学部情報福祉マネジメント学科については、令和7年4月1日から学生募集を停止するものとする。
57. この学則は一部改正し、令和7年4月1日から施行する。なお、令和6年度までに入学した学生は、従前によるものとする。

【学部・学科・連係教育課程の教育研究上の目的】

建学の精神（行学一如）に則り、人類の幸福の追求と国際社会並びに地域社会の発展に貢献できる人材養成を目的として、以下の学部、学科を設置する。

I. 総合福祉学部

多角的視野から教育・研究に取り組み、知識、技術、社会的実践力を鍛磨し、福祉社会の実現に資する人材の養成を目的とする。

① 社会福祉学科

人々の Well-being の実現に貢献する福祉人材を養成する。

② 福祉心理学科

多様な価値観を持つ他者と協働しながら、心理学を核とした幅広い専門知識や技能、実証的分析力を人々や社会の Well-being の実現のためにいかすことのできる力、すなわち「心理実践力」を備えた人材を養成する。

③ 福祉行政学科

公共性及び社会的連帯を基軸に、潜在的な社会的諸問題を発見し、それら諸問題を世の中に発信する力と、官民協働により社会的諸問題を解決できる地域社会の発展に貢献しようという意思と意欲を持つ人材を養成する。

II. 共生まちづくり学部

現代の地域課題に対応した複合領域の知識と地域フィールドでの実践的な学びから、地域の経済・社会・観光・文化、イノベーションやアントレプレナーシップ、AI 等の ICT を含む実践知を培い、持続可能な共生のまちづくり、地域づくりに貢献できる人材の養成を目的とする。

① 共生まちづくり学科

- ・ Well-being を実現する共生のまちづくりのために、教員の複合分野を活かし、持続可能な共生の地域・まちの実現を 1 つの学科として追求する。
- ・ 地域が前向きに活性化に取り組むための新しい価値の創造、すなわち課題解決をこえて誰もがその人らしい生き方のできる共生のまちづくりが実現できるよう、イノベーション、アントレプレナーシップを意識した実践的な教育を行う。
- ・ 学生は理論的な学びに加えて地域のフィールドを活かしたプロジェクト型の実践的な学びを推進する。
- ・ 以上について、3 つの領域（地域経済・経営領域、社会起業・地域創生領域、観光・文化領域）の学びをいかして「新しいまちづくり」を追求、実践する。
- ・ これらにより、以下の能力の獲得を目指す。

1) 興味・関心：実践的な視点を持って議論ができる

2) 知識・技能：応用的な地域課題への探究の姿勢（課題発見力・解決策の構想力）を身につけることができる。

3) 実践的理解：他者と協調・協働できる、リーダーシップを発揮できる、自己の良心と社会の規範やルールに従った行動ができる。

III. 教育学部

豊かな教養と人間性を基礎に据え、保育・教育への熱意、高度な専門性、研修意欲等を備え、乳幼児・児童・生徒の保育・教育に柔軟に対応できる人材の養成を目的とする。

① 教育学科

多様化・複雑化する現代社会において、さまざまな教育的課題に適応できる保育士・教員などの人材を養成する。

IV. 健康科学部

Well-beingな社会を目指し、人間を全人的に捉え、「生命の尊重」「人としての尊厳」を基盤に持つ人材の養成を目的とする。

① 保健看護学科

多様な場において、多職種とよりよい人間関係を築きながら、対象者のWell-beingを探究し、問題の本質を見極め対象者中心の看護を実践する保健・医療において活躍する人材を養成する。

② リハビリテーション学科

広い視野を持ち、保健医療福祉のシステムの中で豊かな人間性、高度な知識と技術、科学的探究心や協調性、使命感を有する人材を養成する。

③ 医療経営管理学科

医療・いのちにかかわる仕事に憧れ、その仕事に就くことで他者のため、社会のために役立つ人材を養成する。

V. 応用福祉学連係教育課程

既設の3学科で展開されているそれぞれのコアとなる学びを、AI/データサイエンス教育を通して社会のWell-being実現に向けて有機的に再構成し、大きく次の3つの力を身につけさせることを目的とする。

- 1) 福祉環境を多面的に理解し、幅広く深い教養と専門領域を修めるとともに、科学的な考え方や先進的なICT技術を活用することによって、生活者それぞれのライフステージのなかで「幸せ」と「安心」を追究しながら社会全体の発展に寄与でき、問題を主体的に解決できる力。
- 2) 地域の課題解決や活性化に資する社会起業やイノベーションについて学び、前例にとらわれない考え方や方法を生み出すとともに、社会起業家の精神を持って多様な主体との連携をコーディネートする力。
- 3) 人々の医療・健康を維持していく社会システムのあり方について深い興味と関心を持ち、心身の健康に関する最新の知見と、様々な環境に置かれている生活者の状況に応じた健康管理・維持をおこなっていく力。

【東北福祉大学 学費】

項目	学 部 (学 科)	
	総合福祉・教育・共生まちづくり・健康科学部(医療経営管理)・応用福祉学連係教育課程	健康科学(保健看護・リハビリテーション)
入学金(入学時)	200,000円	200,000円
授業料(年額)	733,000円	1,000,000円
施設設備資金(年額)	241,000円	300,000円
教育環境整備費(年額)	50,000円	50,000円
厚生費(年額)	20,000円	20,000円
実験施設維持費(年額)	35,000円 (福祉心理学科)	250,000円
実習費(1年次)		100,000円
後援会費(年額)	24,200円	24,200円

- 1 2年次以降の学費はスライド制の適用により改訂する。
 スライド制を適用するときの変動率(対前年度アップ率)は原則として次のものを基準とする。
- (1) 授業料については、人事院による「国家公務員の給与に関する勧告」によって示された国家公務員給与の対前年度アップ率に、同じく定期昇給のアップ率分を加算したものによる。
 - (2) 施設設備資金については消費者物価指数(総務省統計局調査)の対前年度アップ率による。
- 2 学費納付の細則は別に定める。
 3 2年次以降の実習費については別に定める。
 4 学則第65条(休学の場合の学費)に基づく在籍料は、原則として、半期60,000円とする。厚生費等は別途徴収する。

(1) 基盤教育科目

(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部・応用福祉学連係教育課程)

(別表1)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法 (各項目の要件を満たし合計16 単位※以上修得すること)
		必修	選択		
建学の精神を知る科目	TFU科目	Well-Beingを考える	2	1年以上	必修7単位
		福祉と仏教	2	1年以上	
		禅のこころ	1	1年以上	
		リエゾンゼミⅠ	2	1年以上	
自分自身を考える科目	自己管理力 (セルフマネジメント)	キャリアデザイン	1	1年以上	必修2単位 他自由選択
		哲学の世界		2	
		こころの探究		2	
		メンタルヘルス		2	
		身体をととのえる	1	1年以上	
		日常をととのえる		2	
		ライフデザイン		2	
		健康スポーツ		2	
多様性を考える科目	思考・判断力	生命と倫理		2	1単位以上 選択※
		性と生殖		1	
		ジェンダーと多様性		2	
		モノの見方・考え方		2	
		ものづくり(伝統)に触れる		2	
		AIの基礎		2	
		情報の科学		2	
		統計情報を見る眼		2	
	表現力	英語Ⅰ	2	1年以上	必修4単位 他自由選択
		英語Ⅱ	2	2年以上	
		実用英語	2	1年以上	
		第二外国語Ⅰ(中国語)	2	1年以上	
		第二外国語Ⅰ(韓国語)	2	1年以上	
		第二外国語Ⅱ(中国語)	2	2年以上	
		第二外国語Ⅱ(韓国語)	2	2年以上	
		アートとデザイン	2	1年以上	
		自分の思いを伝える表現	2	1年以上	
他の調和を考える科目	社会力	日本国憲法		2	2単位以上 選択
		社会・経済のしくみ		2	
		リーダーシップと協調性		2	
		人間関係について学ぶ		2	
		ボランティアを学ぶ		2	
		実践的防災を学ぶ		2	
		持続可能なくらしづくり(SDGsを考える)		2	

※保健看護学科は区分「思考・判断力」のうち「性と生殖」(1単位)必修、他2単位以上選択履修し、合計18単位以上修得すること。

(2)全学実践科目(科目群)

(別表2)

1)グローバル化の推進

(別表2-①)

基盤教育科目	グローバル・スタディ科目	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
英語 I	アジア共同体に向けて		2	1年以上	自由選択 (日本語 I・II、実用日本語は留学生のみ受講可)
英語 II	日本語 I		1	1年以上	
実用英語	日本語 II		1	1年以上	
第二外国語 I (中国語)	実用日本語		1	1年以上	
第二外国語 I (韓国語)	Study Abroad		1	1年以上	
第二外国語 II (中国語)	グローバルコミュニケーション I		2	1年以上	
第二外国語 II (韓国語)	グローバルコミュニケーション II		2	1年以上	
	Independent Study		1	1年以上	

2)ボランティア支援

(別表2-②)

基盤教育科目	ボランティア・スタディ科目	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
ボランティアを学ぶ 実践的防災を学ぶ	福祉ボランティア活動		2	1年以上	自由選択
	災害伝承学・次世代塾講座		2	1年以上	
	ボランティア活動論		2	2年以上	

3)就職支援

(別表2-③)

基盤教育科目	キャリア・スタディ科目	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
リエゾンゼミ I キャリアデザイン	就労実習		2	2年以上	自由選択

4)ICT支援

(別表2-④)

基盤教育科目	ICT・スタディ科目	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
AIの基礎 情報の科学 統計情報を見る眼	福祉の未来とAI		2	2年以上	自由選択
	福祉の未来とDS		2	2年以上	
	AIとコンテンツ制作		2	3年以上	
	AIエンジニアリング		2	3年以上	
	プログラミング演習		4	2年以上	
	ゲームプログラミング		4	3年以上	

(3)-1)総合福祉学部社会福祉学科

(別表3)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
人と社会の相互作用を理解する科目	実学臨床教育Ⅰ	2		1年	必修8単位 自由選択
	児童・家庭福祉	2		1年以上	
	高齢者福祉	2		1年以上	
	障害者福祉	2		1年以上	
	若者支援論		2	3年以上	
	社会保障論Ⅰ		2	3年以上	
	社会福祉史A		2	2年以上	
	社会福祉史B		2	2年以上	
	福祉心理学		2	1年以上	
	障害者の心理		2	1年以上	
	発達心理学		2	2年以上	
	医学概論		2	2年以上	
対象・問題を俯瞰的に分析する科目	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	必修2単位 いずれか選択履修
	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)				
	リエゾンゼミⅡ(介護基礎演習)				
	社会学と社会システム	2		1年以上	
	社会福祉調査の基礎	2		2年以上	
	保健医療と福祉		2	3年以上	
	社会福祉原論B		2	2年以上	
	社会政策論		2	2年以上	
	政治学原論Ⅰ		2	2年以上	
	経済原論Ⅰ		2	2年以上	
	家族社会学		2	2年以上	
	公衆衛生学		2	2年以上	
	医療ソーシャルワーク論		2	2年以上	
	災害ソーシャルワーク論		2	2年以上	
	スクールソーシャルワーク論		2	3年以上	
	ケアマネジメント論		2	3年以上	
	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)		2	2年以上	
	社会調査実習		2	3年以上	
	地方自治(地方財政を含む)		2	2年以上	
倫理的実践力を培う科目	ソーシャルワークの基盤と専門職	2		1年以上	必修4単位 他自由選択
	社会福祉原論A	2		2年以上	
	権利擁護を支える法制度		2	1年以上	
	リハビリテーション論		2	1年以上	
	刑事司法と福祉		2	1年以上	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2	2年以上	
	認知症の理解と支援Ⅰ		2	3年以上	
	社会福祉法制論		2	3年以上	
	公的扶助論		2	3年以上	
	実学臨床教育Ⅱ		2	2年	
	実学臨床教育Ⅲa		2	3年	
	実学臨床教育Ⅲb(福祉フィールドワーク)		2	3年	
	実学臨床教育Ⅳa		3	4年	
	実学臨床教育Ⅳb(福祉フィールドワーク)		1	4年	
開発・創造力	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2		3年以上	必修6単位 他自由選択
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2		4年	
	地域福祉と包括的支援体制A	2		2年以上	
	国際福祉論		2	2年以上	
	福祉サービスの組織と経営		2	3年以上	
	ユニバーサルデザインのまちづくり		2	2年以上	
	非営利組織論		2	2年以上	

力を
培う
科目

社会貢献論	2	2年以上
ソーシャルビジネス論	2	2年以上
マーケティング論	2	3年以上
福祉用具と生活支援	2	2年以上
生活支援工学Ⅰ	2	2年以上
生活支援工学Ⅱ	2	3年以上
多職種連携論	1	3年以上
卒業論文	4	4年

(3)-2)総合福祉学部福祉心理学科

(別表4)

区分	授業科目名	単位		履修年次	カテゴリー	履修方法
		必修	選択			
人間理解力を培う科目	福祉心理学	2		1年以上		基盤教育科目に該当 必修6単位及びカテゴリーAからの6単位の計12単位を含めて、計26単位以上選択履修
	心理学概論	2		1年以上		
	こころの探究	2		1年以上		
	発達心理学		2	2年以上	A	
	臨床心理学概論		2	2年以上	A	
	教育心理学概論B		2	2年以上	A	
	感情・人格心理学		2	2年以上	A	
	学習・言語心理学		2	2年以上	A	
	知覚・認知心理学		2	1年以上	A	
	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)		2	2年以上	A	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)		2	2年以上		
	応用認知心理学		2	2年以上		
	神経・生理心理学		2	2年以上		
	乳幼児心理学		2	2年以上		
	児童青年心理学		2	2年以上		
	老年心理学 I		2	2年以上		
	人間関係論		2	2年以上		
	現代の精神保健の課題と支援 I		2	2年以上		
	現代の精神保健の課題と支援 II		2	2年以上		
	精神医学と精神医療 I		2	3年以上		
	精神医学と精神医療 II		2	3年以上		
	精神疾患とその治療		2	3年以上		
	人体の構造と機能及び疾病		2	2年以上		
	関係行政論		2	2年以上		
	司法・犯罪心理学各論		2	2年以上		
	社会・集団心理学各論		2	2年以上		
実証的分析力を培う科目	発達心理学各論		2	2年以上		基盤教育科目に該当 必修10単位 他自由選択
	教育心理学各論		2	2年以上		
	臨床心理学各論		2	2年以上		
	認知・社会心理学特講		2	2年以上		
	発達・教育心理学特講		2	2年以上		
	臨床心理学特講		2	2年以上		
	社会学と社会システム		2	1年以上		
	公衆衛生学		2	2年以上		
	マーケティング論		2	2年以上		
	ソーシャルビジネス論		2	2年以上		
	人的資源管理論		2	3年以上		
	心理検査法実習	2		3年		
	心理学実験	2		2年		
	心理学研究法	4		2年		
	統計情報を見る眼	2		1年以上		
	心理統計学の基礎		2	2年以上		
	心理学統計法		2	2年以上		
	心理調査概論		2	2年以上		
	心理学実践研究実習		2	3年以上		
	卒業論文		4	4年		
	リエゾンゼミⅡ(心理学基礎演習)		2	2年以上		必修2単位

主体的協働力を培う科目	主体的協働力	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2	2年以上	上記の必修6単位を含め16単位以上選択履修	他自由選択
		リエゾンゼミⅢ(心理学演習Ⅰ)	2	3年以上		必修2単位 他自由選択
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2	3年以上		必修2単位 他自由選択
		リエゾンゼミⅣ(心理学演習Ⅱ)	2	4年		必修2単位 他自由選択
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2	4年		必修2単位 他自由選択
		心理実践活動論	2	1年以上		
		心理学の実践的応用	2	3年以上		
		障害者・障害児心理学	2	2年以上		
		産業・組織心理学	2	2年以上		
		司法・犯罪心理学	2	2年以上		
		教育・学校心理学	2	2年以上		
		健康・医療心理学	2	2年以上		
		健康教育概論	2	2年以上		
		公認心理師の職責	2	2年以上		
		災害・防災心理学	2	2年以上		
		心理学的支援法Ⅰ	2	3年以上		
		健康心理アセスメント概論	2	3年以上		
		健康心理カウンセリング概論	2	3年以上		
		健康心理カウンセリング実習	2	3年以上		
		健康相談活動(理論及び方法)	2	3年以上		
		健康相談	2	3年以上		
		多職種連携論	1	3年以上		

(3)-3)総合福祉学部福祉行政学科

(別表5)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
潜在的な社会問題を発見する科目	福祉行政入門	2		1年以上	基盤教育科目に該当 必修10単位 他自由選択
	日本国憲法	2		1年以上	
	行政学	2		2年以上	
	社会福祉原論A	2		2年以上	
	社会福祉原論B	2		2年以上	
	政治学原論 I		2	2年以上	
	政治学原論 II		2	2年以上	
	民法総則 I		2	1年以上	
	民法総則 II		2	1年以上	
	物権法 I		2	2年以上	
	物権法 II		2	2年以上	
	債権法 I		2	2年以上	
	債権法 II		2	2年以上	
	家族法 I		2	2年以上	
	家族法 II		2	2年以上	
	経済原論 I		2	2年以上	
	経済原論 II		2	2年以上	
	ミクロ経済学 I		2	3年以上	
	ミクロ経済学 II		2	3年以上	
	マクロ経済学 I		2	3年以上	
	マクロ経済学 II		2	3年以上	
社会的問題のリスクを発信する科目	リエゾンゼミ II(専門基礎演習)	2		2年以上	必修10単位 他自由選択
	リエゾンゼミ III(専門演習 I)	2		3年以上	
	リエゾンゼミ IV(専門演習 II)	2		4年	
	福祉行政総論 I	2		2年以上	
	福祉行政総論 II	2		2年以上	
	社会保障論 I		2	3年以上	
	社会保障論 II		2	3年以上	
	行政法 I		2	2年以上	
	行政法 II		2	2年以上	
	労働法(労働組合法を含む) I		2	2年以上	
	労働法(労働組合法を含む) II		2	2年以上	
	財政学 I		2	3年以上	
	財政学 II		2	3年以上	
	国際協力論		2	3年以上	
	国際政治論		2	3年以上	
官民協働による問題解決	災害概論		2	2年以上	基盤教育科目に該当 必修4単位 他自由選択
	公衆衛生学		2	2年以上	
	福祉行政各論	2		3年以上	
	社会・経済のしくみ	2		1年以上	
	プロジェクト実践活動		2	1年以上	
	地方自治(地方財政を含む)		2	2年以上	
	地域福祉と包括的支援体制A		2	2年以上	
	地域福祉と包括的支援体制B		2	2年以上	
	社会福祉の政策過程論		2	3年以上	
	刑事司法と福祉		2	1年以上	
	権利擁護を支える法制度		2	1年以上	
	地方自治法		2	3年以上	

を模索する科目

更生保護制度(刑法を含む)	2	3年以上
公的扶助論	2	3年以上
基礎数学	2	2年以上
応用数学	2	3年以上
災害・防災心理学	2	2年以上
原子力災害論	2	2年以上
災害復興支援論	2	2年以上
卒業研究	4	4年

(3)-4)共生まちづくり学部共生まちづくり学科

(別表6)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
経済社会のしくみを 学ぶ科目	基礎理解力	産業福祉論	2	2年以上	必修4単位 他自由選択
		労働福祉システム論	2	2年以上	
		経済原論Ⅰ	2	2年以上	
		経済原論Ⅱ	2	2年以上	
		経営学概論	2	1年以上	
		産業・労働社会学	2	2年以上	
		金融の基礎	2	2年以上	
		経済データの基礎	2	2年以上	
		XR入門	2	2年以上	
社会の課題を学ぶ科目	課題発見力	社会起業入門	2	1年以上	必修4単位 他自由選択
		地域創生論	2	1年以上	
		社会政策論	2	2年以上	
		社会起業フィールドワーク	4	1年以上	
		政策学入門	2	1年以上	
		社会学と社会システム	2	1年以上	
		地域社会学	2	1年以上	
総合的な解決の可能性を 学ぶ科目	総合的理解力	共生まちづくり概論	2	1年以上	必修6単位 他自由選択
		フィールドワーク論	2	1年以上	
		まちづくりと地域計画の基礎	2	1年以上	
		文化人類学	2	2年以上	
		参加と協働のまちづくり入門	2	2年以上	
		臨床美術論Ⅰ	2	1年以上	
		家族社会学	2	1年以上	
理論的な課題分析力を 養う科目	課題分析力	地域経済分析	2	3年以上	自由選択
		金融政策論	2	3年以上	
		経営管理論	2	2年以上	
		人的資源管理論	2	3年以上	
		経営戦略論	2	2年以上	
		マーケティング論	2	2年以上	
		データサイエンス	2	2年以上	
		企業論	2	2年以上	
		人工知能ビジネス応用	2	2年以上	
		XR応用	2	2年以上	
		SNSマーケティング	2	2年以上	
地域実践の方法論を 学ぶ科目	課題挑戦力	SNSコンテンツ制作論	2	2年以上	自由選択
		社会起業実践論	2	2年以上	
		ソーシャルビジネス論	2	2年以上	
		社会貢献論	2	2年以上	
		地域共生まちづくりとコミュニティワーク	2	2年以上	
		復興まちづくり論	2	2年以上	
		地域共生社会実践論	2	2年以上	
		子ども家庭支援論	2	2年以上	
		地域共生の社会学	2	2年以上	
		現代農村生活論	2	2年以上	

目 的		情報支援技術論	2	2年以上	
		情報支援実習	4	2年以上	
		プログラミング実習	2	2年以上	
觀 光 ・ 養 文 化 的 解 決 視 點 を く る 科 目	総合的解決力	観光文化論	2	1年以上	自由選択
		観光まちづくり論	2	2年以上	
		ユニバーサルデザインのまちづくり	2	2年以上	
		インクルーシブリサーチ論	2	2年以上	
		旅行業法令	2	1年以上	
		旅行業務関係約款	2	1年以上	
		旅行業務実務	2	1年以上	
		民俗学	2	2年以上	
		クリエイティブ都市論	2	2年以上	
		プロモーションビデオ制作実習	4	3年以上	
課 題 解 決 く る 科 目	実践力	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2	2年以上	必修12単位 他自由選択
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2	3年以上	
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2	4年	
		卒業論文	4	4年	
		まちづくりプロジェクト実践活動Ⅰ	2	1年以上	
		まちづくりプロジェクト実践活動Ⅱ	2	2年以上	
		まちづくりプロジェクト実践活動Ⅲ	2	3年以上	

(3)-5)教育学部教育学科

(別表7)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
人と人との関係を理解する科目	日本国憲法	2		1年以上	基盤教育科目に該当 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 中等教育専攻選択 初等教育専攻選択 必修4単位 他自由選択
	教育心理学概論A	2		2年以上	
	教育心理学概論B	2		2年以上	
	社会福祉原論A		2	2年以上	
	社会福祉原論B		2	2年以上	
	児童・家庭福祉		2	1年以上	
	子ども家庭支援論		2	2年以上	
	人間関係論		2	2年以上	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)		2	2年以上	
	児童青年心理学		2	2年以上	
	乳幼児心理学		2	2年以上	
	保育原理		2	1年以上	
	保育者論		2	1年以上	
	発達心理学		2	2年以上	
	発達心理学各論		2	2年以上	
	教育心理学各論		2	2年以上	
人と人との共生を学ぶ科目	教職論A	2		1年以上	初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 初等教育専攻必修 中等教育専攻必修 必修10単位 他自由選択
	教職論B	2		1年以上	
	特別支援教育の基礎	2		2年以上	
	特別支援教育の理解A	2		3年以上	
	特別支援教育の理解B	2		3年以上	
	教育学概論A	2		1年以上	
	教育学概論B	2		1年以上	
	教育社会学概論A	2		2年以上	
	教育社会学概論B	2		2年以上	
	教育情報学の基礎		2	2年以上	
	教育法規の研究		2	2年以上	
	教育史		4	2年以上	
	教育社会学各論		2	2年以上	
	家族社会学		2	2年以上	
	特別支援教育総論		2	2年以上	
	視覚障害者教育総論		2	2年以上	
	言語障害者教育総論		2	3年以上	
	重複障害者教育総論		2	3年以上	
	発達障害者教育総論		2	3年以上	
	自閉症者教育総論		2	3年以上	
人と人とのを結ぶ方法を学ぶ科目	初等教育課程の意義と編成	2		2年以上	初等教育専攻必修 中等教育専攻必修] いずれか選択必修 必修8単位 他自由選択
	中等教育課程の意義と編成	2		2年以上	
	教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)		2	2年以上	
	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)		2	2年以上	
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2		3年以上	
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2		4年	
	卒業論文		4	4年	
	教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
	教育相談の理論と方法A		2	3年以上	
	教育相談の理論と方法B		2	3年以上	
	教育実践活動Ⅰ		1	1年	
	教育実践活動Ⅱ		1	2年	
	教育実践活動Ⅲ		1	3年	
	教育実践活動Ⅳ		1	4年	
	教職実践演習(幼・小)		2	4年	
	教職実践演習(中・高)		2	4年	
	情報メディアの活用		2	3年以上	
	地域研究法(調査を含む)		2	3年以上	

(3)-5)①教育学部教育学科(初等教育専攻)

(別表7-①)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
人と人との関係を理解する科目	日本国憲法	2		1年以上	基盤教育科目に該当 4単位必修 他自由選択
	教育心理学概論A	2		2年以上	
	社会福祉原論B		2	2年以上	
	児童・家庭福祉		2	1年以上	
	子ども家庭支援論		2	2年以上	
	人間関係論		2	2年以上	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)		2	2年以上	
	児童青年心理学		2	2年以上	
	乳幼児心理学		2	2年以上	
	保育原理		2	1年以上	
	保育者論		2	1年以上	
	発達心理学		2	2年以上	
	発達心理学各論		2	2年以上	
	教育心理学各論		2	2年以上	
人と人の共生を学ぶ科目	教職論A	2		1年以上	必修10単位 他自由選択
	特別支援教育の基礎	2		2年以上	
	特別支援教育の理解A	2		3年以上	
	教育学概論A	2		1年以上	
	教育社会学概論A	2		2年以上	
	教育情報学の基礎		2	2年以上	
	教育法規の研究		2	2年以上	
	教育史		4	2年以上	
	教育社会学各論		2	2年以上	
	家族社会学		2	2年以上	
	特別支援教育総論		2	2年以上	
	視覚障害者教育総論		2	2年以上	
	言語障害者教育総論		2	3年以上	
	重複障害者教育総論		2	3年以上	
	発達障害者教育総論		2	3年以上	
	自閉症者教育総論		2	3年以上	
人と人との問題解決力を結ぶ方法を学ぶ科目	初等教育課程の意義と編成	2		2年以上	いずれか選択必修 必修10単位 他自由選択
	教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)		2	2年以上	
	リエゾンゼミⅡ(福祉実践演習)		2	2年以上	
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2		3年以上	
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2		4年	
	卒業論文		4	4年	
	教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
	教育相談の理論と方法A		2	3年以上	
	教育実践活動Ⅰ		1	1年	
	教育実践活動Ⅱ		1	2年	
	教育実践活動Ⅲ		1	3年	
	教育実践活動Ⅳ		1	4年	
	教職実践演習(幼・小)		2	4年	
	情報メディアの活用		2	3年以上	
	地域研究法(調査を含む)		2	3年以上	

(3)-5)②教育学部教育学科(中等教育専攻)

(別表7-②)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
人と人との関係を理解する科目	日本国憲法	2		1年以上	基盤教育科目に該当 必修4単位 他自由選択
	教育心理学概論B	2		2年以上	
	社会福祉原論A		2	2年以上	
	児童・家庭福祉		2	1年以上	
	子ども家庭支援論		2	2年以上	
	人間関係論		2	2年以上	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)		2	2年以上	
	児童青年心理学		2	2年以上	
	乳幼児心理学		2	2年以上	
	保育原理		2	1年以上	
	保育者論		2	1年以上	
	発達心理学		2	2年以上	
	発達心理学各論		2	2年以上	
	教育心理学各論		2	2年以上	
人と人の共生を学ぶ科目	教職論B	2		1年以上	必修10単位 他自由選択
	特別支援教育の基礎	2		2年以上	
	特別支援教育の理解B	2		3年以上	
	教育学概論B	2		1年以上	
	教育社会学概論B	2		2年以上	
	教育情報学の基礎		2	2年以上	
	教育法規の研究		2	2年以上	
	教育史		4	2年以上	
	教育社会学各論		2	2年以上	
	家族社会学		2	2年以上	
	特別支援教育総論		2	2年以上	
	視覚障害者教育総論		2	2年以上	
	言語障害者教育総論		2	3年以上	
	重複障害者教育総論		2	3年以上	
人と人との結ぶ方法を学ぶ科目	発達障害者教育総論		2	3年以上	必修10単位 他自由選択
	自閉症者教育総論		2	3年以上	
	中等教育課程の意義と編成	2		2年以上	
	教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2		3年以上	
	リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2		4年	
	卒業論文		4	4年	
	教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
	教育相談の理論と方法B		2	3年以上	
	教育実践活動Ⅰ		1	1年	
	教育実践活動Ⅱ		1	2年	
	教育実践活動Ⅲ		1	3年	
	教育実践活動Ⅳ		1	4年	
	教職実践演習(中・高)		2	4年	
	情報メディアの活用		2	3年以上	
	地域研究法(調査を含む)		2	3年以上	

(3)-6)健康科学部保健看護学科

(別表8)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
学び続ける力	基礎演習アドバンス	1		1年以上	必修8単位
	生活の科学	1		1年以上	
	情報処理実習		2	1年以上	
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅢ(統合演習Ⅰ)	2		3年以上	
	リエゾンゼミⅣ(統合演習Ⅱ)	2		4年	
看護者として倫理を追求する力	看護倫理	1		1年以上	必修8単位
	医療安全論	1		2年以上	
	公衆衛生学	2		1年以上	
	社会福祉原論	2		2年以上	
	看護と関係法規	1		4年	
	教育学		2	4年	
	障害者教育方法論		2	4年	
	生死論	1		2年以上	
看護とは何かを考える力	看護学原論	1		1年以上	必修11単位
	臨床看護論	1		1年以上	
	地域看護学概論	1		1年以上	
	看護学基礎実習Ⅰ(人々の暮らしとWell-being)	1		1年以上	
	看護学基礎実習Ⅱ(看護の機能と役割)	1		1年以上	
	在宅看護学概論	1		1年以上	
	精神看護学概論	1		1年以上	
	母性看護学概論	1		1年以上	
	小児看護学概論	1		2年以上	
	成人看護学概論	1		2年以上	
	老年看護学概論	1		2年以上	
	公衆衛生看護学概論		1	2年以上	
	助産学概論		1	2年以上	
看護の基礎を築く科目	人体の構造と機能Ⅰ	2		1年以上	必修30単位
	人体の構造と機能Ⅱ	2		1年以上	
	生化学・代謝学	1		1年以上	
	微生物学	1		1年以上	
	栄養学	1		3年以上	
	生涯発達心理学	1		1年以上	
	行動科学		1	2年以上	
	保健医療社会学	1		1年以上	
	文化人類学		1	3年以上	
	家族看護論	1		2年以上	
	病態学・病理学	1		1年以上	
	臨床薬理学	2		2年以上	
	臨床検査学	1		2年以上	
	疾病治療論Ⅰ	2		2年以上	
	疾病治療論Ⅱ	1		2年以上	
	疾病治療論Ⅲ	2		2年以上	
	精神疾患治療論	1		2年以上	
	小児疾病治療論	1		2年以上	
	女性疾患治療論	1		2年以上	
	医療情報学	1		2年以上	
	保健統計学		2	3年以上	
	疫学		2	3年以上	
	地域看護援助論Ⅰ	1		2年以上	

	地域看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅰ	1	2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
	在宅看護援助論Ⅰ	1	1年以上	
	精神看護援助論Ⅰ	1	2年以上	
	母性看護援助論Ⅰ	1	2年以上	
	小児看護援助論Ⅰ	1	2年以上	
	成人看護援助論Ⅰ	1	2年以上	
	老年看護援助論Ⅰ	1	2年以上	
対象者中心の 看護を探求す る力	コミュニケーション論	1	1年以上	
	看護過程論	1	2年以上	
	看護学基礎実習Ⅲ(対象者中心の看護の探求)	2	2年以上	
	ヘルスアセスメント論	1	2年以上	
	看護過程総合演習	1	3年以上	
	看護統合演習Ⅰ	1	3年以上	
	看護統合演習Ⅱ	1	4年	
	在宅看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅲ	1	2年以上	
	精神看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
	母性看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
	地域母子保健	2	2年以上	
	助産診断技術論Ⅰ	1	3年以上	
	助産診断技術論Ⅱ	1	3年以上	
	小児看護援助論Ⅱ	1	3年以上	
	成人看護援助論Ⅱ	1	3年以上	
	老年看護援助論Ⅱ	1	3年以上	
	がん看護論	1	3年以上	
	周手術期・救命救急看護論	2	3年以上	
	在宅看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
	精神看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
	母性看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
	小児看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
	老年看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
看護の実践力を高 める科目	看護管理	1	3年以上	
	看護研究方法論	1	3年以上	
	看護学研究	2	4年	
	生活援助論Ⅰ	2	1年以上	
	生活援助論Ⅱ	2	2年以上	
	診療援助論	1	2年以上	
	看護技術総合演習	1	4年	
	臨床看護実習Ⅰ	2	3年以上	
	臨床看護実習Ⅱ	2	3年以上	
	臨床看護実習Ⅲ	2	3年以上	
	重症・集中ケア実習	1	3年以上	
	在宅看護学実習	2	3年以上	
対象者中心の 看護を実践す る力	精神看護学実習	2	3年以上	
	母性看護学実習	2	3年以上	
	小児看護学実習	2	3年以上	
	看護学統合実習	2	4年	
	産業保健論	1	3年以上	
	学校保健論	1	3年以上	
	災害看護論	1	3年以上	
	国際看護論	1	4年	
				必修24単位
				必修22単位
多様な場で協 力する力				必修4単位

働く力	多職種連携論	1		3年以上
	認知症ケア実習	1		3年以上
	継続看護実習	1		3年以上
	アドバンスド看護実習		1	4年

(3)-7)①健康科学部リハビリテーション学科(理学療法学専攻)

(別表9-①)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
リハビリテーションの基礎について学ぶ科目	人体の構造・機能・運動及び心身の発達を理解する力	解剖学 I (筋骨格系)	2	1年以上	必修14単位 他自由選択
		機能解剖学実習	1	1年以上	
		解剖学 II (神経系・内臓系)	2	1年以上	
		人体生理学	2	1年以上	
		人体生理学実習	1	1年以上	
		運動学 I	2	1年以上	
		理学療法運動学 II	2	2年以上	
		人間発達学	1	1年以上	
		人間発達学演習		1	2年以上
		臨床運動学	1	2年以上	
リハビリテーションの基礎について学ぶ科目	疾患と障害の成り立ちと回復促進過程を理解する力	疾病と障害総論	2	1年以上	必修14単位
		臨床医学基礎論	1	2年以上	
		神経系障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		骨・関節障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		内部障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		発達障害とリハビリテーション	1	2年以上	
		老年期障害とリハビリテーション	1	2年以上	
		精神障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		健康と臨床の心理学	1	1年以上	
		リハビリテーションの理念と概要	2	1年以上	
理学療法を構築する科目	理学療法を探求する力	リハビリテーション実践	2	2年以上	必修5単位
		地域包括ケアとリハビリテーション	1	2年以上	
		理学療法概論	2	1年以上	
		基礎理学療法	1	1年以上	
		理学療法研究法	1	3年以上	
	対象者の状況を捉える力	理学療法研究法演習	1	3年以上	必修9単位
		卒業研究	4	4年	
		マネジメントする力	理学療法管理学	2	3年以上
		理学療法評価学 I	2	1年以上	
		理学療法評価学 II	2	2年以上	
理学療法を構築する科目	理学療法の技術を実践する力	surface anatomy	1	2年以上	必修7単位
		画像診断学	1	2年以上	
		運動動作分析学	1	2年以上	
		基礎運動療法学	2	2年以上	
		運動器系理学療法学 I	2	2年以上	
		運動器系理学療法学 II	1	3年以上	必修21単位
		発達系理学療法学 I	2	3年以上	
		発達系理学療法学 II	1	3年以上	
		神経系理学療法学 I	2	2年以上	
		神経系理学療法学 II	1	3年以上	
		神経系理学療法学 III	1	3年以上	
		内部障害系理学療法学 I	2	3年以上	
		内部障害系理学療法学 II	1	3年以上	
		高齢者・生活系理学療法学	1	3年以上	
		義肢装具学	1	2年以上	
		義肢装具学実習	1	3年以上	

	物理療法学	1		1年以上		
	物理療法学実習	1		2年以上		
	日常生活活動	1		2年以上		
地域で理学療法を実践する力	地域理学療法学Ⅰ	2		3年以上	必修3単位	
	地域理学療法学Ⅱ	1		3年以上		
多様な理学療法を実践する力	理学療法総合特論	2		4年	必修2単位 他自由選択	
	世界における理学療法		1	4年		
	スポーツ理学療法学		1	4年		
	予防理学療法		1	4年		
	理学療法士の社会活動		1	1年以上		
臨床現場での実践力を高める科目	実践における知識・技術を活用する力	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	必修10単位
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2		3年以上	
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2		4年	
		リハビリテーションと教育	2		1年以上	
		リハビリテーション英語	2		2年以上	
	臨床現場で理学療法を実践する力	見学実習	1		1年以上	必修20単位
		理学療法評価実習	4		2年以上	
		理学療法実践実習Ⅰ	6		3年以上	
		理学療法実践実習Ⅱ	8		4年	
		地域理学療法実習	1		4年	
ンリ 実ハ せ践ビ るカリ 科をテ 目発 ー展シ さヨ	理学療法の実践力を 発展させるための力	ボディメカニクスと力学	1		1年以上	必修1単位 他自由選択
		救急救命法		2	2年以上	
		地域生活と住環境		2	4年	
		災害リハビリテーション		1	4年	
		実践教育方法論		2	4年	

(3)-7)②健康科学部リハビリテーション学科(作業療法学専攻)

(別表9-②)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
リハビリテーションの基礎について学ぶ科目	人体の構造・機能・運動及び心身の発達を理解する力	解剖学 I (筋骨格系)	2	1年以上	必修13単位 他自由選択
		機能解剖学実習	1	1年以上	
		解剖学 II (神経系・内臓系)	2	1年以上	
		人体生理学	2	1年以上	
		人体生理学実習	1	1年以上	
		運動学 I	2	1年以上	
		作業療法運動学 II	2	2年以上	
		人間発達学	1	1年以上	
		人間発達学演習		1	2年以上
		臨床運動学		1	2年以上
疾患と障害の成り立ちと回復促進過程を理解する力	リハビリテーションを理解する力	疾病と障害総論	2	1年以上	必修14単位
		臨床医学基礎論	1	2年以上	
		神経系障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		骨・関節障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		内部障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		発達障害とリハビリテーション	1	2年以上	
		老年期障害とリハビリテーション	1	2年以上	
		精神障害とリハビリテーション	2	2年以上	
		健康と臨床の心理学	1	1年以上	
		リハビリテーションの理念と概要	2	1年以上	
作業療法の実践力を高める科目	作業及び作業療法を理解する力	リハビリテーション実践	2	2年以上	必修5単位
		地域包括ケアとリハビリテーション	1	2年以上	
		作業療法概論	1	1年以上	
		作業科学 I	2	1年以上	
		作業科学 II	1	3年以上	
		健康と作業	1	1年以上	
		生活と作業	1	1年以上	
	対象者の状況を幅広く捉える力	作業の評価と実践	1	2年以上	必修7単位 他自由選択
		国際作業療法学		1	
		マネジメントする力	2	3年以上	
各実践領域で作業療法を実践する力	対象者の状況を幅広く捉える力	作業療法評価学総論	2	1年以上	必修6単位
		作業療法評価学 I	2	2年以上	
		作業療法評価学 II	1	2年以上	
		作業療法評価学 III	1	2年以上	
	各実践領域で作業療法を実践する力	作業療法の介入と適用	1	2年以上	必修20単位
		身体機能と作業療法学 I	2	2年以上	
		身体機能と作業療法学 II	2	2年以上	
		身体機能と作業療法学 III	2	3年以上	
		精神機能と作業療法学 I	1	2年以上	
		精神機能と作業療法学 II	2	2年以上	
		小児期の作業療法学	1	3年以上	
		高齢期の作業療法学	2	2年以上	
		高次脳機能と作業療法学	2	3年以上	
		生活技術学	1	2年以上	
		生活技術学実習	1	2年以上	
		テクノロジーと作業療法学 I	1	2年以上	

	テクノロジーと作業療法学Ⅱ	1		3年以上		
	作業療法実践基礎論	1		3年以上		
地域リハビリテーションを実践する力	地域生活支援学Ⅰ	2		3年以上	必修4単位	
	地域生活支援学Ⅱ	1		3年以上		
	就労と就学支援論	1		3年以上		
作業療法を探求する力	作業療法研究法	2		3年以上	必修4単位 他自由選択	
	作業療法総合特論Ⅰ	1		4年		
	作業療法総合特論Ⅱ	1		4年		
	特講(作業療法)		1	4年		
	卒業研究		4	4年		
臨床実践力を高める科目	臨床の場で知識・技術・態度を活用する力	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	必修10単位
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2		3年以上	
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2		4年	
		リハビリテーションと教育	2		1年以上	
		リハビリテーション英語	2		2年以上	
	対象者の状況に応じて適切に作業療法を実践できる力	早期体験実習	1		1年以上	必修25単位
		作業療法体験実習	3		2年以上	
		作業療法評価実習	3		3年以上	
		作業療法実践実習Ⅰ	8		3年以上	
		作業療法実践実習Ⅱ	8		4年	
ンリ 実ハ せ践ビ るカリ 科をテ 目発一 展シ さヨ	作業療法の実践力を発展させるための力	地域生活支援実習	2		4年	自由選択
		ボディメカニクスと力学		1	1年以上	
		救急救命法		2	2年以上	
		地域生活と住環境		2	4年	
		災害リハビリテーション		1	4年	
		実践教育方法論		2	4年	

(3)-8)健康科学部医療経営管理学科

(別表10)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
健康を支える社会のしくみ を学ぶ科目	課題発見力	医療概論	4	1年以上	必修6単位 他自由選択
		医療経営管理論	2	1年以上	
		公衆衛生学	2	2年以上	
		成人保健	2	2年以上	
		保健医療情報学	2	2年以上	
		デジタルヘルスケア	2	2年以上	
		ヘルスマネジメント論	2	3年以上	
		社会保障論 I	2	3年以上	
身体・病気を理解する科目や身近な	健康理解力	生命科学と医療の接点	2	1年以上	基盤教育科目に該当 必修4単位 他自由選択
		百寿時代の老年医学	2	1年以上	
		日常をととのえる	2	1年以上	
		解剖生理学	2	1年以上	
		臨床医学総論	2	1年以上	
		身体活動と健康	2	1年以上	
		医薬品学	2	2年以上	
		心理学概論	2	1年以上	
		健康・医療心理学	2	2年以上	
数字に基づく分析力を養う科目	数的分析力	統計情報を見る眼	2	1年以上	基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 必修4単位 他自由選択
		生活の中の数学	2	1年以上	
		情報の科学	2	1年以上	
		AIの基礎	2	1年以上	
		モノの見方・考え方	2	1年以上	
		ICT入門実習	2	1年以上	
		福祉の未来とDS	2	2年以上	
		インフォメーションデザイン論	2	2年以上	
		医療データサイエンス入門	2	2年以上	
対応力を養う科目	危機管理力	ファーストエイド	2	1年以上	基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 基盤教育科目に該当 必修2単位 他自由選択
		リーダーシップと協調性	2	1年以上	
		人間関係について学ぶ	2	1年以上	
		実践的防災を学ぶ	2	1年以上	
		災害概論	2	1年以上	
		災害医療論	2	2年以上	
		コミュニケーション基礎演習	1	2年以上	
		災害・イベント医療	2	3年以上	
姿探 養勢求 うとの 科手に 目法学 をぶ	生涯学習力	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2	2年以上	必修6単位 他自由選択
		リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2	3年以上	
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2	4年	
		卒業研究	4	4年	

(3)-9) 応用福祉学連係教育課程

(別表11)

区分	授業科目名	単位		履修年次	履修方法
		必修	選択		
異なる背景や立場を持つ人々との関係構築に資する科目	共感力	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2	2年以上	必修6単位 他自由選択
		権利擁護を支える法制度	2	1年以上	
		社会福祉原論A	2	2年以上	
		社会学と社会システム	2	1年以上	
		家族社会学	2	1年以上	
		医学概論	2	2年以上	
		障害者の心理	2	1年以上	
		高齢者福祉	2	1年以上	
		障害者福祉	2	1年以上	
		児童・家庭福祉	2	1年以上	
		福祉心理学	2	1年以上	
		若者支援論	2	3年以上	
		認知症の理解と支援Ⅰ	2	3年以上	
		リハビリテーション論	2	1年以上	
		心理学概論	2	1年以上	
		健康・医療心理学	2	2年以上	
		公衆衛生学	2	2年以上	
新たなアプローチやアイデアを資する科開発・発信・共有する能力に	発想力	生活の中の数学	2	1年以上	必修4単位 他自由選択
		百寿時代の老年医学	2	1年以上	
		データサイエンス	2	2年以上	
		SNSマーケティング	2	2年以上	
		SNSコンテンツ制作論	2	2年以上	
		プログラミング実習	2	2年以上	
		プロモーションビデオ制作実習	4	3年以上	
		人工知能ビジネス応用	2	2年以上	
		XR入門	2	2年以上	
		XR応用	2	2年以上	
		インフォメーションデザイン論	2	2年以上	
		デジタルヘルスケア	2	2年以上	
		ヘルスマネジメント論	2	3年以上	
		解剖生理学	2	1年以上	
多様な主体との連携をコードィネート力	コーディネート力	リエゾンゼミⅢ(専門演習Ⅰ)	2	3年以上	必修8単位 他自由選択
		リエゾンゼミⅣ(専門演習Ⅱ)	2	4年	
		社会起業入門	2	1年以上	
		ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	
		経済原論Ⅰ	2	2年以上	
		金融の基礎	2	2年以上	
		情報支援技術論	2	2年以上	
		情報支援実習	4	2年以上	
		政策学入門	2	1年以上	
		社会政策論	2	2年以上	
		人的資源管理論	2	3年以上	
		ソーシャルビジネス論	2	2年以上	

ー トする能 力を養う科 目	子ども家庭支援論	2	2年以上
	地域福祉と包括的支援体制A	2	2年以上
	社会福祉調査の基礎	2	2年以上
	実学臨床教育Ⅰ	2	1年以上
	実学臨床教育Ⅱ	2	2年以上
	実学臨床教育Ⅲa	2	3年以上
	実学臨床教育Ⅲb(福祉フィールドワーク)	2	3年以上
	実学臨床教育Ⅳa	2	4年
	実学臨床教育Ⅳb(福祉フィールドワーク)	2	4年
	身体活動と健康	2	1年以上

(4)多職種連携領域（総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部・応用福祉学連係教育課程）
(別表12)

授業科目名	単位	履修年次	履修方法
多職種連携論	1	3年以上	自由選択 ・科目のコーディネートにあたって、職種のグルーピングは自由とする。 ・学生の修得単位は1単位とし、1単位修得後の履修は聴講とする。

(5)社会福祉士国家試験受験資格に関する指定科目(総合福祉学部)

(別表13)

指定科目名	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
医学概論	医学概論	2	2年以上	必修62単位
心理学と心理的支援	福祉心理学	2	1年以上	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	1年以上	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論A	2	2年以上	
	社会福祉原論B	2	2年以上	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	2年以上	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	1年以上	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年以上	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2	3年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2	3年以上	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制A	2	2年以上	
	地域福祉と包括的支援体制B	2	2年以上	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	3年以上	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	3年以上	
	社会保障論Ⅱ	2	3年以上	
高齢者福祉	高齢者福祉	2	1年以上	
障害者福祉	障害者福祉	2	1年以上	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	2	1年以上	
貧困に対する支援	公的扶助論	2	3年以上	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	3年以上	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	1年以上	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	1年以上	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	1	2年	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	1	2年	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	1	3年	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	1	3年	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	1	4年	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	2年	必修5単位
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	3年	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	4年	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	3年	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	4年	
補助科目	社会福祉講座Ⅰ	2	4年	
	社会福祉講座Ⅱ	2	4年	
	社会福祉講座Ⅲ	1	4年	

(6)社会福祉士国家試験受験資格に関する基礎科目(総合福祉学部)

(別表14)

指定科目名	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
医学概論	医学概論	2	2年以上	必修33単位
心理学と心理的支援	福祉心理学	2	1年以上	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	1年以上	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	3年以上	
	社会保障論Ⅱ	2	3年以上	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	1年以上	
高齢者福祉	高齢者福祉	2	1年以上	
障害者福祉	障害者福祉	2	1年以上	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	2	1年以上	
貧困に対する支援	公的扶助論	2	3年以上	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	3年以上	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	1年以上	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	1年以上	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	2年以上	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	3年以上	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	1	2年	

(7)精神保健福祉士国家試験受験資格に関する指定科目(総合福祉学部)

(別表15)

指定科目名	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
医学概論	医学概論	2	2年以上	
心理学と心理的支援	福祉心理学	2	1年以上	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	1年以上	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論A	2	2年以上	
	社会福祉原論B	2	2年以上	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制A	2	2年以上	
	地域福祉と包括的支援体制B	2	2年以上	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	3年以上	
	社会保障論Ⅱ	2	3年以上	
障害者福祉	障害者福祉	2	1年以上	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	1年以上	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	1年以上	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	2年以上	
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	2	3年以上	
	精神医学と精神医療Ⅱ	2	3年以上	
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	2年以上	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	2年以上	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2年以上	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2年以上	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年以上	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅰ	2	3年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅱ	2	3年以上	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2	2年以上	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	2年以上	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	1	2年	
ソーシャルワーク演習(専門)	精神保健福祉演習Ⅰ	1	2年	
	精神保健福祉演習Ⅱ	1	2年	
	精神保健福祉演習Ⅲ	1	4年	
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉実習指導Ⅰ	1	3年	
	精神保健福祉実習指導Ⅱ	1	3年	
	精神保健福祉実習指導Ⅲ	1	4年	
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉実習Ⅰ	2	3年	
	精神保健福祉実習Ⅱ	3	4年	

必修64単位

(8)精神保健福祉士国家試験受験資格に関する基礎科目(総合福祉学部)

(別表16)

指定科目名	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
医学概論	医学概論	2	2年以上	必修29単位
心理学と心理的支援	福祉心理学	2	1年以上	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	1年以上	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論A	2	2年以上	
	社会福祉原論B	2	2年以上	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制A	2	2年以上	
	地域福祉と包括的支援体制B	2	2年以上	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	3年以上	
	社会保障論Ⅱ	2	3年以上	
障害者福祉	障害者福祉	2	1年以上	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	1年以上	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	1年以上	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	2年以上	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	1	2年	

(9)保育士資格に関する科目(総合福祉学部社会福祉学科)

(別表17)

	本学の開設科目名	単位		種別	履修年次	履修方法
		必修	選択			
目的保 に育 関の す本 る質 科・ 目	社会福祉原論A	2		講義	2年以上	
	ソーシャルワーク演習		1	演習	2年以上	
	ソーシャルワーク演習(専門) I		1	演習	2年以上	
	ソーシャルワーク演習(専門) II		1	演習	3年以上	
	ソーシャルワーク演習(専門) III		1	演習	3年以上	
	児童・家庭福祉	2		講義	1年以上	
	保育原理	2		講義	1年以上	
	保育者論	2		講義	1年以上	
	子ども家庭支援論	2		講義	2年以上	
	社会的養護 I	2		講義	2年以上	
保 育 の 対 象 目 の □理 解 に 関 す る	教育学概論A	2		講義	1年以上	
	保育の心理学	2		講義	2年以上	
	子ども家庭支援の心理学	2		講義	2年以上	
	子どもの理解と援助	1		演習	2年以上	
	子どもの保健	2		講義	1年以上	
	臨床心理学概論		2	講義	2年以上	
	特別支援教育の基礎		2	講義	2年以上	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)		2	講義	2年以上	
	乳幼児心理学		2	講義	2年以上	
	子どもの食と栄養	2		演習	1年以上	
保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 す る 科 目	保育内容総論	1		演習	2年以上	
	子どもと健康	1		演習	2年以上	
	子どもと人間関係	1		演習	2年以上	
	子どもと環境	1		演習	2年以上	
	子どもと言葉	1		演習	2年以上	
	子どもと表現(美術)	1		演習	2年以上	
	子どもと表現(音楽)	1		演習	2年以上	
	子どもと表現(運動あそび)	1		演習	2年以上	
	保育内容(健康)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(人間関係)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(環境)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(言葉)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(表現・美術)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(表現・音楽)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(表現・運動あそび)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育の計画と評価	2		講義	3年以上	
	子どもの健康と安全	1		演習	1年以上	
	教育方法論(ICT活用を含む)		2	講義	2年以上	
	社会的養護 II	1		演習	3年以上	
	障害児保育	2		演習	2年以上	
	リエゾンゼミ II(福祉実践演習)	2		演習	2年以上	
	乳児保育 I	2		講義	2年以上	
	乳児保育 II	1		演習	2年以上	
	表現技術 I(音楽)	2		演習	1年以上	
	表現技術 II(音楽)		2	演習	2年以上	
	表現技術 III(美術)		1	演習	2年以上	
	表現技術 IV(体育実技)		1	演習	2年以上	
	音楽教育		2	講義	3年以上	
	児童美術論		2	講義	3年以上	
保 育 実 習	保育実習指導 I	2		演習	2年以上	
	保育実習指導 II	1		演習	3年以上	
	保育実習 I	4		実習	3年以上	
	保育実習 II	2		実習	3年以上	
総合演習	保育実践演習	2		演習	3年以上	
教 養 科 目	禅のこころ	1		実技	1年以上	
	リエゾンゼミ I	2		演習	1年以上	
	日本の教育	2		講義	1年以上	
	Well-Beingを考える	2		講義	1年以上	
	英語 I	2		演習	1年以上	必修2単位
	身体をととのえる	1		実技	1年以上	
	日常をととのえる	2		講義	1年以上	必修3単位

(10)保育士資格に関する科目(教育学部教育学科初等教育専攻)

(別表18)

本学の開設科目名		必修	選択	種別	履修年次	履修方法
目的保育に関する本質的・根本的な知識・技能を習得するための科目	社会福祉原論A	2		講義	2年以上	
	児童・家庭福祉	2		講義	1年以上	
	保育原理	2		講義	1年以上	
	保育者論	2		講義	1年以上	
	子ども家庭支援論	2		講義	2年以上	
	社会的養護 I	2		講義	2年以上	
	教育学概論A	2		講義	1年以上	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2		講義	2年以上	
	子ども家庭支援の心理学	2		講義	2年以上	
	子どもの理解と援助	1		演習	2年以上	
	子どもの保健	2		講義	1年以上	
	臨床心理学概論		2	講義	2年以上	
	特別支援教育の基礎		2	講義	2年以上	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)		2	講義	2年以上	
	乳幼児心理学		2	講義	2年以上	
	子どもの食と栄養	2		演習	1年以上	
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	1		演習	2年以上	
	子どもと健康	1		演習	2年以上	
	子どもと人間関係	1		演習	2年以上	
	子どもと環境	1		演習	2年以上	
	子どもと言葉	1		演習	2年以上	
	子どもと表現(美術)	1		演習	2年以上	
	子どもと表現(音楽)	1		演習	2年以上	
	子どもと表現(運動あそび)	1		演習	2年以上	
	保育内容(健康)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(人間関係)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(環境)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(言葉)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(表現・美術)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(表現・音楽)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育内容(表現・運動あそび)の理論と方法	1		演習	2年以上	
	保育の計画と評価	2		講義	3年以上	
	子どもの健康と安全	1		演習	1年以上	
	教育方法論(ICT活用を含む)		2	講義	2年以上	
	社会的養護 II	1		演習	3年以上	
	障害児保育	2		演習	2年以上	
	リエゾンゼミ II(福祉実践演習)	2		演習	2年以上	
	乳児保育 I	2		講義	2年以上	
	乳児保育 II	1		演習	2年以上	
	表現技術 I(音楽)	2		演習	1年以上	
	表現技術 II(音楽)		2	演習	2年以上	
	表現技術 III(美術)		1	演習	2年以上	
	表現技術 IV(体育実技)		1	演習	2年以上	
	音楽教育		2	講義	3年以上	
	児童美術論		2	講義	3年以上	
保育実習	保育実習指導 I	2		演習	2年以上	
	保育実習指導 II	1		演習	3年以上	
	保育実習 I	4		実習	3年以上	
	保育実習 II	2		実習	3年以上	
総合演習	保育実践演習	2		演習	3年以上	
教養科目	禅のこころ	1		実技	1年以上	必修7単位
	リエゾンゼミ I	2		演習	1年以上	
	日本の教育	2		講義	1年以上	
	Well-Beingを考える	2		講義	1年以上	
	英語 I	2		演習	1年以上	必修2単位
	スポーツ	2		実技	1年以上	必修4単位
	日常をととのえる	2		講義	1年以上	

(11)介護福祉士国家試験受験資格に関する指定科目(総合福祉学部社会福祉学科) (別表19)

教育内容	本学の授業科目名	種別	必修	選択	履修年次	履修方法
人間と社会	人間の尊厳と自立	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2	1年以上	必修2単位
	人間関係とコミュニケーション	リエゾンゼミⅡ(介護基礎演習)	演習	2	2年	必修2単位
	社会の理解	社会学と社会システム	講義	2	1年以上	必修10単位
		高齢者福祉	講義	2	1年以上	
		障害者福祉	講義	2	1年以上	
		社会保障論Ⅰ	講義	2	3年以上	
		社会保障論Ⅱ	講義	2	3年以上	
	人間と社会に関する選択科目	Well-Beingを考える	講義	2	1年以上	必修6単位
		社会福祉原論A	講義	2	2年以上	
		社会福祉原論B	講義	2	2年以上	
介護	介護の基本	介護福祉論Ⅰ	講義	2	1年以上	必修12単位
		介護概論Ⅰ(ケアワークの基礎)	講義	2	2年以上	
		介護概論Ⅱ(ケアワークの実践)	講義	2	2年以上	
		介護福祉論Ⅱ	講義	2	2年以上	
		介護福祉論Ⅲ	講義	2	2年以上	
		リハビリテーション論	講義	2	1年以上	
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術A	演習	1	2年	必修2単位
		コミュニケーション技術B	演習	1	2年	
	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	演習	1	2年	必修12単位
		生活支援技術Ⅱ	演習	1	2年	
		生活支援技術Ⅲ	演習	1	3年	
		生活支援技術Ⅳ	演習	1	3年	
		生活支援技術Ⅴ	演習	1	4年	
		家政学概論Ⅰ	講義	2	2年以上	
		家政学概論Ⅱ	講義	2	2年以上	
		家政学演習	演習	3	3年	
	介護過程	介護過程論	講義	2	2年以上	必修6単位
		介護過程Ⅰ	演習	1	2年	
		介護過程Ⅱ	演習	1	2年	
		介護過程Ⅲ	演習	1	3年	
		介護過程Ⅳ	演習	1	3年	
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	演習	1	2年	必修4単位
		介護総合演習Ⅱ	演習	1	2年	
		介護総合演習Ⅲ	演習	1	3年	
		介護総合演習Ⅳ	演習	1	3年	
	介護実習	介護実習Ⅰ	実習	2	2年	必修10単位
		介護実習Ⅱ	実習	8	3年	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	老年心理学Ⅰ	講義	2	3年以上	必修4単位
		老年心理学Ⅱ	講義	2	3年以上	
	認知症の理解	認知症の理解と支援Ⅰ	講義	2	3年以上	必修4単位
		認知症の理解と支援Ⅱ	講義	2	3年以上	
	障害の理解	障害者の心理	講義	2	1年以上	必修4単位
		障害の基礎医学	講義	2	3年以上	
	こころとからだのしくみ	医学概論	講義	2	2年以上	必修8単位
		こころとからだのしくみA	講義	2	2年以上	
		こころとからだのしくみB	講義	2	3年以上	
		福祉心理学	講義	2	1年以上	
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアⅠ	講義	2	3年以上	必修7単位
		医療的ケアⅡ	講義	2	3年以上	
		医療的ケアⅢ	講義	1	4年	
		医療的ケア演習A(喀痰吸引)	演習	1	4年	
		医療的ケア演習B(経管栄養)	演習	1	4年	

(12)-1)(ア)高等学校教諭一種免許状(福祉)に関する教育課程(社会福祉学科)

(別表20)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	免許法施行規則に定める科目区分	法定単位	本学の開設科目名	単位						
						必修	選択	履修年次	履修方法			
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	社会福祉学(職業指導を含む。) 高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉 社会福祉援助技術 介護理論・介護技術 社会福祉総合実習(社会福祉実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。) 人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解 加齢に関する理解・障害に関する理解 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	24	Well-Beingを考える	2		1年以上	必修37単位			
					社会福祉原論A	2		2年以上				
					高齢者福祉	2		1年以上				
					児童・家庭福祉	2		1年以上				
					障害者福祉	2		1年以上				
					ソーシャルワークの基盤と専門職	2		1年以上				
					介護概論 I (ケアワークの基礎)	2		2年以上				
					基礎介護技術	2		2年以上				
					介護実習の事前事後指導	1		3年以上				
					介護実習	2		3年以上				
					医学概論	2		2年以上				
					こころとからだのしくみA	2		2年以上				
					老年心理学 I	2		3年以上				
					老年心理学 II	2		3年以上				
					認知症の理解と支援 I	2		3年以上				
					認知症の理解と支援 II	2		3年以上				
					障害者の心理	2		1年以上				
					福祉科の指導法	4		2年以上				
第三欄	教育の基礎的な理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位				
				教職論B	2		1年以上					
				教育社会学概論B	2		2年以上					
				教育心理学概論B	2		2年以上					
				特別支援教育の理解B	2		3年以上					
				中等教育課程の意義と編成	2		2年以上					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	必修10単位				
				特別活動の指導法B	2		2年以上					
				教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上					
				生徒指導・進路指導論B	2		3年以上					
				教育相談の理論と方法B	2		3年以上					
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習(中・高)の事前指導	1		3年以上	必修6単位				
				教育実習(中・高)の事前事後指導	1		4年					
				教育実習(中・高)	4		4年					
第六欄	大学が独自に設定する科目(※1)	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		4年	必修2単位				
教育職員免許法66条の6に定める科目												
日本国憲法				2	日本国憲法	2		1年以上	必修7単位			
体育				2	日常をととのえる	2		1年以上				
					身体をととのえる	1						
外国語コミュニケーション				2	英語 I	2		1年以上				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				2	情報の科学	2		1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)			
					情報処理実習	2						

(12)-1)(イ)養護教諭一種免許状に関する教育課程(福祉心理学科)

(別表21)

第一欄	養護及び教職に関する科目	免許法施行規則に定める科目区分	法定単位	本学の開設科目名	単位					
					必修	選択	履修年次	履修方法		
第二欄	養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	28	公衆衛生学	2		2年以上	必修41単位		
		学校保健		医学概論	2		2年以上			
		養護概説		学校保健	2		1年以上			
		健康相談活動の理論及び方法		養護概説	2		1年以上			
		栄養学(食品学を含む。)		養護活動論	2		2年以上			
		解剖学及び生理学		健康相談	2		3年以上			
		「微生物学、免疫学、薬理概論」		栄養学(食品学を含む)	2		2年以上			
		精神保健		解剖生理学	2		2年以上			
		看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)		微生物学	4		2年以上			
				現代の精神保健の課題と支援 I	2		2年以上			
				現代の精神保健の課題と支援 II	2		2年以上			
				精神医学と精神医療 I	2		3年以上			
				精神医学と精神医療 II	2		3年以上			
				救急処置および看護法	2		3年以上			
				看護学	4		2年以上			
				疾病予防および看護学	2		1年以上			
				看護学臨床実習の事前事後指導	1		3年以上			
				看護学臨床実習	2		3年以上			
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論B	2		1年以上			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学概論B	2		2年以上			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学概論B	2		2年以上			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の理解B	2		3年以上			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程の意義と編成	2		2年以上			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳の指導法B	2		2年以上	必修12単位		
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上			
		生徒指導の理論及び方法		特別活動の指導法B	2		2年以上			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上			
				生徒指導・進路指導論B	2		3年以上			
				教育相談の理論と方法B	2		3年以上			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	養護実習の事前指導	1		3年以上	必修6単位		
				養護実習の事前事後指導	1		4年			
				養護実習	4		4年			
第六欄	大学が独自に設定する科目(※1)	教職実践演習	2	教職実践演習(養護教諭)	2		4年	必修2単位		
教育職員免許法66条の6に定める科目										
日本国憲法			2	日本国憲法	2		1年以上	必修7単位		
体育			2	日常をととのえる	2		1年以上			
外国語コミュニケーション			2	身体をととのえる	1					
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作			2	英語 I	2		1年以上			
				情報の科学		2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)		
				情報処理実習		2				

(12)-2(ア)幼稚園教諭一種免許状に関する教育課程(初等教育専攻)

(別表22)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	法定単位	本学の開設科目名	単位				
					必修	選択	履修年次	履修方法	
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	子どもと健康	1		2年以上	必修11単位	
				子どもと人間関係	1		2年以上		
				子どもと環境	1		2年以上		
				子どもと言葉	1		2年以上		
				子どもと表現(音楽)	1		2年以上		
				表現技術Ⅰ(音楽)	2		1年以上		
				表現技術Ⅱ(音楽)		2	2年以上		
				子どもと表現(美術)	1		2年以上		
				表現技術Ⅲ(美術)	1		2年以上		
				子どもと表現(運動あそび)	1		2年以上		
				表現技術Ⅳ(体育実技)	1		2年以上		
				保育内容(健康)の理論と方法	1		2年以上		
				保育内容(人間関係)の理論と方法	1		2年以上		
				保育内容(環境)の理論と方法	1		2年以上		
				保育内容(言葉)の理論と方法	1		2年以上		
				保育内容(表現・美術)の理論と方法	1		2年以上		
				保育内容(表現・音楽)の理論と方法	1		2年以上		
				保育内容(表現・運動あそび)の理論と方法	1		2年以上		
第三欄	教育の基礎的理 解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論A	2		1年以上	必修12単位	
				教育史		4	2年以上		
				教職論A	2		1年以上		
				教育社会学概論A	2		2年以上		
				教育心理学概論A	2		2年以上		
				特別支援教育の理解A	2		3年以上		
				初等教育課程の意義と編成	2		2年以上		
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4	教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	必修4単位	
				幼児理解と教育相談	2		3年以上		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習(幼・小)の事前指導	1		2年以上	必修6単位	
				教育実習(幼・小)の事前事後指導	1		3年以上		
		教職実践演習	2	教育実習(幼・小)	4		3年以上	必修2単位	
第六欄	大学が独自に設定する科目		14	子どもの保健	2		1年以上	10単位以上選択履修のこと	
				子ども家庭支援論	2		2年以上		
				乳幼児心理学	2		2年以上		
				音楽教育	2		3年以上		
				児童美術論	2		3年以上		
				英語活動の指導法	2		2年以上		
				教育社会学各論	2		2年以上		
				教育心理学各論	2		2年以上		
				教育実践活動Ⅰ	1		1年		
				教育実践活動Ⅱ	1		2年		
				教育実践活動Ⅲ	1		3年		
				教育実践活動Ⅳ	1		4年		
教育職員免許法66条の6に定める科目									
日本国憲法		2	日本国憲法	2		1年以上			
体育		2	スポーツ	2		1年以上	必修6単位		
外国語コミュニケーション		2	英語Ⅰ	2		1年以上			
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		2	情報の科学	2		1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)		
			情報処理実習	2					

(12)-2)(イ)小学校教諭一種免許状に関する教育課程(初等教育専攻)

(別表23)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	法定単位	本学の開設科目名	単位			
					必修	選択	履修年次	履修方法
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	30	国語科概論(書写を含む)	2		1年以上	必修10単位を含め 12単位以上選択履修
				社会科概論	2		1年以上	
				算数概論	2		1年以上	
				理科概論	2		2年以上	
				生活科概論	2		2年以上	
				表現技術Ⅰ(音楽)	2		1年以上	
				表現技術Ⅱ(音楽)	2		2年以上	
				音楽教育	2		3年以上	
				表現技術Ⅲ(美術)	1		2年以上	
				児童美術論	2		3年以上	
				家庭科概論	2		2年以上	
				表現技術Ⅳ(体育実技)	1		2年以上	
				英語科概論	2		2年以上	
				国語科の指導法	2		2年以上	
				国語科教材研究	2		2年以上	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	社会科の指導法	2		2年以上	必修20単位
				社会科教材研究	2		2年以上	
				算数科の指導法	2		2年以上	
				算数科教材研究	2		2年以上	
				理科の指導法	2		2年以上	
				理科教材研究(実験)	2		3年以上	
				生活科の指導法	2		2年以上	
				生活科教材研究	2		3年以上	
				音楽科の指導法	2		2年以上	
				図画工作科の指導法	2		2年以上	
				家庭科の指導法	2		2年以上	
				家庭科教材研究	2		3年以上	
				体育科の指導法	2		2年以上	
				体育科教材研究	2		3年以上	
				英語科の指導法	2		2年以上	
				英語科教材研究	2		3年以上	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	教育学概論A	2		1年以上	必修12単位
				教育史		4	2年以上	
				教職論A	2		1年以上	
				教育社会学概論A	2		2年以上	
				教育心理学概論A	2		2年以上	
				特別支援教育の理解A	2		3年以上	
				初等教育課程の意義と編成	2		2年以上	
第五欄	教育実践に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	10	道徳の指導法A	2		2年以上	必修12単位
				道徳の教材研究		2	2年以上	
				総合的な学習の時間の指導法A	2		2年以上	
				特別活動の指導法A	2		2年以上	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	
		教育実習	5	生徒指導・進路指導論A	2		3年以上	必修6単位
				教育相談の理論と方法A	2		3年以上	
		教職実践演習	2	教職実践演習(幼・小)	2		4年	必修2単位

第六欄	大学が独自に設定する科目	2	教育社会学各論		2	2年以上	4単位以上選択履修		
			教育心理学各論		2	2年以上			
			情報メディアの活用		2	3年以上			
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上			
			教育実践活動Ⅰ		1	1年			
			教育実践活動Ⅱ		1	2年			
			教育実践活動Ⅲ		1	3年			
			教育実践活動Ⅳ		1	4年			
			教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法			2	日本国憲法	2	1年以上	必修6単位		
体育			2	スポーツ	2	1年以上			
外国語コミュニケーション			2	英語Ⅰ	2	1年以上			
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作			2	情報の科学	2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)		
				情報処理実習	2	1年以上			

(12)-2)(ウ)中学校教諭一種免許状(社会)に関する教育課程(中等教育専攻)

(別表24)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めなければならない事項	法定単位	本学の開設科目名	単位						
					必修	選択	履修年次	履修方法			
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28	日本史概説	4		1年以上	必修を含め36単位 以上選択履修			
				日本文化史		4	2年以上				
				日本美術史		2	3年以上				
				古文書概論		2	2年以上				
				東洋史概説	2		2年以上				
				西洋史概説	2		2年以上				
				西洋美術史		2	3年以上				
				人文地理学	4		2年以上				
				自然地理学	4		2年以上				
				地誌	4		2年以上				
				○法学概論(国際法を含む)		2	2年以上	○印●印の科目のうちいずれか選択必修(●はI・II必修)			
				●政治学原論 I		2	2年以上				
				●政治学原論 II		2	2年以上				
				△社会学原論 I		2	2年以上				
				△社会学原論 II		2	2年以上				
				▲経済原論 I		2	2年以上				
				▲経済原論 II		2	2年以上				
				◎倫理学概論		4	2年以上				
				◎宗教学概論		2	2年以上				
				仏教学概論		4	2年以上				
				社会科の指導法 I(地理歴史)	4		2年以上	△印▲印の科目のうちいずれか選択必修(▲ I・II必修)			
				社会科の指導法 II(公民)	4		2年以上				
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位			
				教育史		4	2年以上				
				教職論B		2	1年以上				
				教育社会学概論B		2	2年以上				
				教育心理学概論B		2	2年以上				
				特別支援教育の理解B		2	3年以上				
				中等教育課程の意義と編成		2	2年以上				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	道徳の指導法B	2		2年以上	必修12単位			
				道徳の教材研究		2	2年以上				
				総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上				
				特別活動の指導法B	2		2年以上				
				教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上				
				生徒指導・進路指導論B		2	3年以上				
				教育相談の理論と方法B		2	3年以上				
				教育実習(中・高)の事前指導	1		2年以上				
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習(中・高)の事前事後指導	1		3年以上	必修6単位			
				教育実習(中・高)	4		3年以上				
				教職実践演習(中・高)	2		4年				
第六欄	大学が独自に設定する科目		4	生涯学習概論 I※		2	1年以上	IIの履修はIの履修を前提とする 6単位以上選択履修			
				生涯学習概論 II※		2	1年以上				
				教育社会学各論		2	2年以上				
				教育心理学各論		2	2年以上				
				地域研究法(調査を含む)		2	3年以上				
				博物館概論		2	2年以上				
				文化財概論		2	2年以上				
				情報メディアの活用		2	3年以上				
				教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上				
				教育実践活動 I		1	1年				
				教育実践活動 II		1	2年				
				教育実践活動 III		1	3年				
				教育実践活動 IV		1	4年				
教育職員免許法66条の6に定める科目											
日本国憲法				2	日本国憲法	2	1年以上	必修7単位			
体育				2	日常をととのえる	2	1年以上				
外国語コミュニケーション					身体をととのえる	1	1年以上				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				2	英語 I	2	1年以上				
				2	情報の科学	2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)			
					情報処理実習	2					

(12)-2(工)高等学校教諭一種免許状(地理歴史)に関する教育課程(中等教育専攻)

(別表25)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めなければならない事項	法定単位	本学の開設科目名	単位						
					必修	選択	履修年次	履修方法			
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	24	日本史概説	4		1年以上	必修を含め32単位 以上選択履修			
				日本文化史		4	2年以上				
				日本美術史		2	3年以上				
				古文書概論		2	2年以上				
				東洋史概説	2		2年以上				
				西洋史概説	2		2年以上				
				西洋美術史		2	3年以上				
				人文地理学	4		2年以上				
				自然地理学	4		2年以上				
				地誌	4		2年以上				
第三欄	教育の基礎的理 解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位			
				教育史		4	2年以上				
				教職論B	2		1年以上				
				教育社会学概論B	2		2年以上				
				教育心理学概論B	2		2年以上				
				特別支援教育の理解B	2		3年以上				
				中等教育課程の意義と編成	2		2年以上				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	必修10単位			
				特別活動の指導法B	2		2年以上				
				教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上				
				生徒指導・進路指導論B	2		3年以上				
				教育相談の理論と方法B	2		3年以上				
				教育実習(中・高)の事前指導	1		2年以上				
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習(中・高)の事前事後指導	1		3年以上	必修6単位			
				教育実習(中・高)	4		3年以上				
				教職実践演習(中・高)	2		4年				
第六欄	大学が独自に設定する科目		12	生涯学習概論 I	2	1年以上	IIの履修はIの履修を前提とする 6単位以上選択履修				
				生涯学習概論 II	2	1年以上					
				教育社会学各論	2	2年以上					
				教育心理学各論	2	2年以上					
				地域研究法(調査を含む)	2	3年以上					
				博物館概論	2	2年以上					
				文化財概論	2	2年以上					
				情報メディアの活用	2	3年以上					
				教育デジタルコンテンツ作成論	2	2年以上					
				教育実践活動 I	1	1年					
				教育実践活動 II	1	2年					
				教育実践活動 III	1	3年					
教育職員免許法66条の6に定める科目				教育実践活動 IV	1	4年					
日本国憲法											
体育											
外国語コミュニケーション											
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作											
情報の科学				2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)					
情報処理実習				2							

(12)-2)(才)高等学校教諭一種免許状(公民)に関する教育課程(中等教育専攻)

(別表26)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	法定単位	本学の開設科目名	単位					
					必修	選択	履修年次	履修方法		
第二欄 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	24	○法学概論(国際法を含む) ●政治学原論Ⅰ ●政治学原論Ⅱ △社会学原論Ⅰ △社会学原論Ⅱ 社会学と社会システム ▲経済原論Ⅰ ▲経済原論Ⅱ ◎倫理学概論 ◎宗教学概論 仏教学概論 ◎心理学概論 社会科の指導法Ⅱ(公民) 公民科指導法	○法学概論(国際法を含む)	2	2年以上		28単位以上選択履修 ○印●印の科目のうちいすれか選択必修(●はⅠ・Ⅱ必修)		
				●政治学原論Ⅰ	2	2年以上		△印▲印の科目のうちいすれか選択必修(▲Ⅰ・Ⅱ必修)		
				●政治学原論Ⅱ	2	2年以上				
				△社会学原論Ⅰ	2	2年以上				
				△社会学原論Ⅱ	2	2年以上				
				社会学と社会システム	2	1年以上				
				▲経済原論Ⅰ	2	2年以上				
				▲経済原論Ⅱ	2	2年以上				
				◎倫理学概論	4	2年以上				
				◎宗教学概論	2	2年以上				
				仏教学概論	4	2年以上				
				◎心理学概論	2	1年以上				
				社会科の指導法Ⅱ(公民)	4	2年以上				
				公民科指導法	4	2年以上				
第三欄 教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論B 教育史 教職論B 教育社会学概論B 教育心理学概論B 特別支援教育の理解B 中等教育課程の意義と編成	教育学概論B	2	1年以上	必修12単位			
				教育史	4	2年以上				
				教職論B	2	1年以上				
				教育社会学概論B	2	2年以上				
				教育心理学概論B	2	2年以上				
				特別支援教育の理解B	2	3年以上				
				中等教育課程の意義と編成	2	2年以上				
第四欄 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	総合的な学習の時間の指導法B 特別活動の指導法B 教育方法論(ICT活用を含む) 生徒指導・進路指導論B 教育相談の理論と方法B	総合的な学習の時間の指導法B	2	2年以上	必修10単位			
				特別活動の指導法B	2	2年以上				
				教育方法論(ICT活用を含む)	2	2年以上				
				生徒指導・進路指導論B	2	3年以上				
				教育相談の理論と方法B	2	3年以上				
第五欄 教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	3	教育実習(中・高)の事前指導 教育実習(中・高)の事前事後指導 教育実習(中・高)	教育実習(中・高)の事前指導	1	2年以上	必修6単位			
				教育実習(中・高)の事前事後指導	1	3年以上				
				教育実習(中・高)	4	3年以上				
		2	教職実践演習(中・高)	教職実践演習(中・高)	2	4年	必修2単位			
第六欄 大学が独自に設定する科目		12	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教育社会学各論 教育心理学各論 地域研究法(調査を含む) 博物館概論 文化財概論 情報メディアの活用 教育デジタルコンテンツ作成論 教育実践活動Ⅰ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ	生涯学習概論Ⅰ	2	1年以上	IIの履修はIの履修を前提とする 6単位以上選択履修			
				生涯学習概論Ⅱ	2	1年以上				
				教育社会学各論	2	2年以上				
				教育心理学各論	2	2年以上				
				地域研究法(調査を含む)	2	3年以上				
				博物館概論	2	2年以上				
				文化財概論	2	2年以上				
				情報メディアの活用	2	3年以上				
				教育デジタルコンテンツ作成論	2	2年以上				
				教育実践活動Ⅰ	1	1年				
				教育実践活動Ⅱ	1	2年				
				教育実践活動Ⅲ	1	3年				
				教育実践活動Ⅳ	1	4年				
教育職員免許法66条の6に定める科目										
日本国憲法			2	日本国憲法	2	1年以上	必修7単位			
体育			2	日常をととのえる	2	1年以上				
外国語コミュニケーション			2	身体をととのえる	1	1年以上				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作			2	英語Ⅰ	2	1年以上				
			2	情報の科学	2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)			
			2	情報処理実習	2	1年以上				

(12)-2(力)中学校教諭一種免許状(英語)に関する教育課程(中等教育専攻)

(別表27)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	法定単位	本学の開設科目名	単位			
					必修	選択	履修年次	履修方法
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	28	英語学	英語学概論	2	1年以上	必修を含め37単位以上選択履修のこと いずれか1科目以上必修
				教育英語学	2	2年以上		
				英語音声学	2	2年以上		
				英語統語論	2	2年以上		
				心理言語学	2	3年以上		
				日英比較言語学	2	3年以上		
				英語文学Ⅰ	2	1年以上		
				英語文学Ⅱ	2	2年以上		
				英語文学講読Ⅰ		2	2年以上	
				英語文学・文化Ⅰ		2	2年以上	
				英語文学講読Ⅱ		2	3年以上	
				英語文学・文化Ⅱ		2	3年以上	
				Academic Reading	2	1年以上		
				Academic Writing	2	2年以上		
				Presentation Skills	2	3年以上		
				Speaking&Listening Skills	2	2年以上		
				English ProjectⅠ		2	2年以上	
				English ProjectⅡ		2	3年以上	
				English ProjectⅢ		2	4年	
				異文化理解Ⅰ	2	1年以上		
				異文化理解Ⅱ	2	2年以上		
				語学・文化海外研修	3	2年以上		
				英語科教育法(概論)	2	1年以上		
				英語科教育法(指導法)	2	2年以上		
				英語科教育法(実践A)	2	2年以上		
				英語科教育法(実践B)	2	3年以上		
				第二言語習得論	2	3年以上		
				児童英語教育		2	2年以上	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論B	2	1年以上		必修12単位
				教育史		4	2年以上	
				教職論B	2	1年以上		
				教育社会学概論B	2	2年以上		
				教育心理学概論B	2	2年以上		
				特別支援教育の理解B	2	3年以上		
				中等教育課程の意義と編成	2	2年以上		
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	道徳の指導法B	2	2年以上		必修12単位
				道徳の教材研究		2	2年以上	
				総合的な学習の時間の指導法B	2	2年以上		
				特別活動の指導法B	2	2年以上		
				教育方法論(ICT活用を含む)	2	2年以上		
				生徒指導・進路指導論B	2	3年以上		
				教育相談の理論と方法B	2	3年以上		
				教育実習(中・高)の事前指導	1	2年以上		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	5	教育実習(中・高)の事前事後指導	1	3年以上		必修6単位
				教育実習(中・高)	4	3年以上		
				教職実践演習(中・高)	2	4年		
第六欄	大学が独自に設定する科目		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教育社会学各論 教育心理学各論 情報メディアの活用 教育デジタルコンテンツ作成論 教育実践活動Ⅰ 教育実践活動Ⅱ 教育実践活動Ⅲ 教育実践活動Ⅳ	生涯学習概論Ⅰ	2	1年以上	IIの履修はIの履修を前提とする 4単位以上選択履修	
				生涯学習概論Ⅱ	2	1年以上		
				教育社会学各論	2	2年以上		
				教育心理学各論	2	2年以上		
				情報メディアの活用	2	3年以上		
				教育デジタルコンテンツ作成論	2	2年以上		
				教育実践活動Ⅰ		1	1年	
				教育実践活動Ⅱ		1	2年	
				教育実践活動Ⅲ		1	3年	
				教育実践活動Ⅳ		1	4年	

教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法	2	日本国憲法	2	1年以上		
体育	2	日常をととのえる	2	1年以上	必修7単位	
		身体をととのえる	1	1年以上		
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	2	1年以上		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報の科学	2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)	
		情報処理実習	2			

(12)-2)(キ)高等学校教諭一種免許状(英語)に関する教育課程(中等教育専攻)

(別表28)

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	法定単位	本学の開設科目名	単位					
					必修	選択	履修年次	履修方法		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	24	英語学	英語学概論	2	1年以上	必修を含め37単位以上選択履修のこと いずれか1科目以上必修		
					教育英語学	2	2年以上			
				英語文学	英語音声学	2	2年以上			
					英語統語論	2	2年以上			
					心理言語学	2	3年以上			
					日英比較言語学	2	3年以上			
				英語文学	英語文学Ⅰ	2	1年以上	いずれか1科目以上必修		
					英語文学Ⅱ	2	2年以上			
					英語文学講読Ⅰ	2	2年以上			
					英語文学・文化Ⅰ	2	2年以上			
					英語文学講読Ⅱ	2	3年以上			
					英語文学・文化Ⅱ	2	3年以上			
				英語コミュニケーション	Academic Reading	2	1年以上	いずれか1科目以上必修		
					Academic Writing	2	2年以上			
					Presentation Skills	2	3年以上			
					Speaking&Listening Skills	2	2年以上			
					English Project I	2	2年以上			
					English Project II	2	3年以上			
				異文化理解	English Project III	2	4年	いずれか1科目以上必修		
					異文化理解Ⅰ	2	1年以上			
					異文化理解Ⅱ	2	2年以上			
					語学・文化海外研修	3	2年以上			
					英語科教育法(概論)	2	1年以上			
					英語科教育法(指導法)	2	2年以上			
				第三欄	英語科教育法(実践A)	2	2年以上	必修12単位		
					英語科教育法(実践B)	2	3年以上			
					第二言語習得論	2	3年以上			
					児童英語教育	2	2年以上			
					教育学概論B	2	1年以上			
					教育史	4	2年以上			
	教育の基礎的 理解に関する 科目		10		教職論B	2	1年以上	必修12単位		
					教育社会学概論B	2	2年以上			
					教育心理学概論B	2	2年以上			
					特別支援教育の理解B	2	3年以上			
					中等教育課程の意義と編成	2	2年以上			
					総合的な探究の時間の指導法	2	2年以上	必修10単位		
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		8		特別活動の指導法	2	2年以上			
					教育の方法及び技術	2	2年以上			
					情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	2年以上			
					生徒指導の理論及び方法	2	3年以上			
					進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	3年以上			
					教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	3年以上			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習(中・高)の事前指導	1	2年以上	必修6単位			
				教育実習(中・高)の事前事後指導	1	3年以上				
				教育実習(中・高)	4	3年以上				
第六欄	大学が独自に設定する科目	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	4年	必修2単位			
				生涯学習概論Ⅰ	2	1年以上	IIの履修はIの履修を前提とする 4単位以上選択履修			
			12	生涯学習概論Ⅱ	2	1年以上				
				教育社会学各論	2	2年以上				
				教育心理学各論	2	2年以上				
				情報メディアの活用	2	3年以上				
				教育デジタルコンテンツ作成論	2	2年以上				
				教育実践活動Ⅰ	1	1年				
				教育実践活動Ⅱ	1	2年				
				教育実践活動Ⅲ	1	3年				
				教育実践活動Ⅳ	1	4年				
教育職員免許法66条の6に定める科目										
日本国憲法				日本国憲法	2	1年以上	必修7単位			
体育				日常をととのえる	2	1年以上				
				身体をととのえる	1	1年以上				
外国語コミュニケーション				英語Ⅰ	2	1年以上				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				情報の科学	2	1年以上	必修2単位 (いずれか選択必修)			
				情報処理実習	2	1年以上				

(12)-2)(ク)特別支援学校教諭一種免許状に関する教育課程(幼保コースを除く。)

(別表29)

特別支援教育に関する科目		法定単位	本学の開設科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論	2		2年以上	必修科目を含め、 17科目34単位 以上選択履修
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	16	聴覚障害者の心理	2		3年以上	
			聴覚障害者の生理・病理	2		3年以上	
			知的障害者の心理・生理・病理	2		3年以上	
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2		3年以上	
			病弱者の心理・生理・病理	2		3年以上	
			聴覚障害者教育論	4		3年以上	
			知的障害者教育論	2		3年以上	
			肢体不自由者教育論	2		2年以上	
			病弱者教育論	2		2年以上	
			視覚障害者教育総論	2		2年以上	
第三欄	免許法に定めることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	言語障害者教育総論	2		3年以上	
			重複障害者教育総論	2		3年以上	
			発達障害者教育総論	2		3年以上	
			自閉症者教育総論		2	3年以上	
			特別支援教育実習の事前指導	1		3年以上	
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習の事前事後指導	1		4年	
			特別支援教育実習	2		4年	

(13) 司書教諭資格に関する科目
 (総合福祉学部社会福祉学科・教育学部教育学科(幼保コースを除く。)) (別表30)

法令上の科目	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	3年以上	5科目10単位必修
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	3年以上	
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	3年以上	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	3年以上	
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	3年以上	

(14) 司書資格に関する専門科目
 (総合福祉学部・教育学部教育学科中等教育専攻・健康科学部医療経営管理学科) (別表31)

区分	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
必修科目	生涯学習概論Ⅰ	2	1年以上	必修22単位
	図書館概論	2	2年以上	
	図書館情報技術論	2	3年以上	
	図書館制度・経営論	2	3年以上	
	図書館サービス概論	2	2年以上	
	情報サービス論	2	2年以上	
	情報サービス演習	2	3年以上	
	児童サービス論	2	2年以上	
	図書館情報資源概論	2	3年以上	
	情報資源組織論	2	2年以上	
	情報資源組織演習	2	3年以上	
	図書館基礎特論	1	2年以上	
選択科目	図書館サービス特論	1	2年以上	2科目2単位以上選択して取得のこと
	図書館情報資源特論	1	3年以上	
	図書・図書館史	1	2年以上	
	図書館施設論	1	2年以上	
	図書館総合演習	1	3年以上	
	図書館実習	1	3年以上	

(15)社会福祉主任用資格に関する科目（総合福祉学部・共生まちづくり学部・
健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程）

(別表32)

厚生労働省指定科目	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
社会福祉概論	社会福祉原論A	2	2年以上	6科目単位修得で完成
	社会福祉原論B	2	2年以上	
社会福祉事業史	社会福祉史A	2	2年以上	6科目単位修得で完成
	社会福祉史B	2	2年以上	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	6科目単位修得で完成
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	1年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2	3年以上	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2	3年以上	
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎	2	2年以上	
社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営	2	3年以上	
社会福祉行政論	社会福祉法制論	2	3年以上	
社会保障論	社会保障論Ⅰ	2	3年以上	
	社会保障論Ⅱ	2	3年以上	
公的扶助論	公的扶助論	2	3年以上	
児童福祉論	児童・家庭福祉	2	1年以上	厚生労働省指定科目別に3科目以上単位修得 (科目にⅠとⅡ及びAとBがある場合、両者の単位を修得)
家庭福祉論				
保育理論	保育原理	2	1年以上	
身体障害者福祉論	障害者福祉	2	1年以上	
知的障害者福祉論				
精神障害者保健福祉論	精神医学と精神医療Ⅰ	2	3年以上	厚生労働省指定科目別に3科目以上単位修得 (科目にⅠとⅡ及びAとBがある場合、両者の単位を修得)
	精神医学と精神医療Ⅱ	2	3年以上	
	精神疾患とその治療	2	3年以上	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	2年以上	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	2年以上	
老人福祉論	高齢者福祉	2	1年以上	
医療社会事業論	医療ソーシャルワーク論	2	2年以上	
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制A	2	2年以上	
	地域福祉と包括的支援体制B	2	2年以上	
法学	権利擁護を支える法制度	2	1年以上	
民法	民法総則Ⅰ	2	1年以上	
	民法総則Ⅱ	2	1年以上	
行政法	行政法Ⅰ	2	2年以上	
	行政法Ⅱ	2	2年以上	
経済学	社会・経済のしくみ	2	1年以上	
社会政策	社会政策論	2	2年以上	
経済政策				
心理学	福祉心理学	2	1年以上	
	心理学概論	2	1年以上	
社会学	社会学と社会システム	2	1年以上	
教育学	教育学概論B	2	1年以上	
倫理学	倫理学概論	4	2年以上	
公衆衛生学	公衆衛生学	2	2年以上	
医学一般	医学概論	2	2年以上	
リハビリテーション論	リハビリテーション論	2	1年以上	
看護学	看護学	4	2年以上	
介護概論	介護概論Ⅰ(ケアワークの基礎)	2	2年以上	
栄養学	栄養学(食品学を含む)	2	2年以上	
家政学	家政学概論Ⅰ	2	2年以上	
	家政学概論Ⅱ	2	2年以上	

(16)身体障害者福祉司任用資格に関する科目
(総合福祉学部・共生まちづくり学部・応用福祉学連携教育課程)

(別表33)

群	法令指定科目	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法 (I群II群合わせて14科目以上単位修得)
I 群	社会事業概論	社会福祉原論A	2	2年以上	必修4単位
		社会福祉原論B	2	2年以上	
	社会事業史	社会福祉史A	2	2年以上	必修4単位
		社会福祉史B	2	2年以上	
	社会事業施設論	福祉サービスの組織と経営	2	3年以上	必修2単位
	社会事業行政	社会福祉法制論	2	3年以上	必修2単位
	社会事業の方法	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1年以上	1科目選択必修 各2科目修得して各1科目とする
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	1年以上	
		ソーシャルワークの理論と方法 I	2	2年以上	
		ソーシャルワークの理論と方法 II	2	2年以上	
II 群	社会立法	権利擁護を支える法制度	2	1年以上	1科目選択必修 I・IIセット履修 (I・IIがある科目は両方とも単位修得して1科目とする)
		民法総則 I	2	1年以上	
		民法総則 II	2	1年以上	
		物権法 I	2	2年以上	
		物権法 II	2	2年以上	
		債権法 I	2	2年以上	
		債権法 II	2	2年以上	
		労働法(労働組合法を含む) I	2	2年以上	
		労働法(労働組合法を含む) II	2	2年以上	
		行政法 I	2	2年以上	
		行政法 II	2	2年以上	
	社会政策	社会政策論	2	2年以上	1科目選択必修 I・IIセット履修 (同上)
		社会保障論 I	2	3年以上	
		社会保障論 II	2	3年以上	
II 群	社会病理又は社会問題	社会学と社会システム	2	1年以上	1科目選択必修
		社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	2	2年以上	
	社会調査	社会福祉調査の基礎	2	2年以上	1科目選択必修
	社会統計	社会調査実習	2	3年以上	
	社会衛生	公衆衛生学	2	2年以上	必修2単位
	精神衛生	現代の精神保健の課題と支援 I	2	2年以上	1科目選択必修 I・IIセット履修 (同上)
		現代の精神保健の課題と支援 II	2	2年以上	
		臨床心理学概論	2	2年以上	
	身体障害者の心理	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	3年以上	必修4単位
		聴覚障害者の心理	2	3年以上	
	職業指導・補装具知識	障害者福祉	2	1年以上	1科目選択必修
		介護概論 I (ケアワークの基礎)	2	2年以上	
		福祉用具と生活支援	2	2年以上	
		福祉用具活用実習	1	2年以上	
		生活支援工学 I	2	2年以上	
	社会教育	リハビリテーション論	2	1年以上	必修4単位 I・IIセット履修 (同上)
		生涯学習概論 I	2	1年以上	
		生涯学習概論 II	2	1年以上	

(17)公認心理師国家試験受験資格に関する科目(総合福祉学部福祉心理学科)

(別表34)

領域	科目	本学の授業科目名	単位	履修年次	本学での履修方法
公認心理師となるために必要な法規定科目	1.公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	2年以上	必修58単位 ※実習80時間以上
	2.心理学概論	心理学概論	2	1年以上	
	3.臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	2年以上	
	4.心理学研究法	心理学研究法	4	2年	
	5.心理学統計法	心理学統計法	2	2年以上	
	6.心理学実験	心理学実験	2	2年	
	7.知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	1年以上	
	8.学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	2年以上	
	9.感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	2年以上	
	10.神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	2年以上	
	11.社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	2	2年以上	
		社会・集団・家族心理学(家族心理学)	2	2年以上	
	12.発達心理学	発達心理学	2	2年以上	
	13.障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	2年以上	
	14.心理的アセスメント	心理的アセスメントⅠ	2	2年以上	
		心理的アセスメントⅡ	2	3年以上	
	15.心理学的支援法	心理学的支援法Ⅰ	2	3年以上	
		心理学的支援法Ⅱ	2	3年以上	
	16.健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	2年以上	
	17.福祉心理学	福祉心理学	2	1年以上	
	18.教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	2年以上	
	19.司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	2年以上	
	20.産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	2年以上	
	21.人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	2年以上	
	22.精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	3年以上	
	23.関係行政論	関係行政論	2	2年以上	
	24.心理演習	心理演習	2	3年以上	
	25.心理実習	心理実習	2	4年	
本学指定科目		心理学実践研究実習	2	3年以上	必修6単位
		卒業論文	4	4年	

(18)(公財)日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者資格
 (総合福祉学部・共生まちづくり学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)

(ア)初級パラスポーツ指導員資格に関する科目

(別表35)

本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
障害者スポーツ指導法Ⅰ	2	1年以上	必修
ユニバーサルスポーツ	2	1年以上	必修

(イ)中級パラスポーツ指導員資格に関する科目

(別表36)

本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
障害者スポーツ指導法Ⅱ	2	2年以上	必修
障害者スポーツ指導法Ⅲ	1	2年以上	必修

*2科目を単位取得する他に2~4年次の3年間で「80時間以上」の実践ボランティア活動が必要です。

(19)介護職員初任者研修の課程に関する科目

(総合福祉学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)

(別表37)

本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
介護概論 I (ケアワークの基礎)	2	2年以上	20単位のうち 選択履修のこと
高齢者福祉	2	1年以上	
障害者福祉	2	1年以上	
老年心理学 I	2	3年以上	
老年心理学 II	2	3年以上	
認知症の理解と支援 I	2	3年	
認知症の理解と支援 II	2	3年	
医学概論	2	2年以上	
基礎介護技術	2	2年以上	
介護過程論	2	2年以上	

(20) レクリエーション・インストラクター資格に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・
教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程) (別表38)

系 列	本学の授業科目名	種別	単位	履修年次	履修方法
1 理論科目	レクリエーション理論	講義	2	2年以上	必修2単位
2 実技科目	レクリエーション実技	実技	2	2年以上	必修3単位
	レクリエーション支援技術演習	演習	1	2年以上	
2-1 実習(活動)	福祉ボランティア活動	実習	2	1年以上	1科目選択し単位修得
	実学臨床教育Ⅱ	実習	2	2年	
2-2 事業参加	レクリエーション事業	実習	1	2年以上	必修(2回参加することにより 単位認定)

(21)福祉用具専門相談員に関する科目

(総合福祉学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)

(別表39)

指定科目名称	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
老人保健福祉に関する基礎知識	高齢者の保健福祉とりハビリテーション	2	2年	必修
関連領域に関する基礎知識				
介護と福祉用具に関する理解	福祉用具と生活支援	2	2年	必修
福祉用具の活用に関する実習	福祉用具活用実習	1	2年	必修

(22) 臨床美術課程に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・
健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程) (別表40)

本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
臨床美術論 I	2	1年以上	必修12単位 ※臨床美術論は I 、 II 、 III 、 IV の順に履修
臨床美術論 II	2	1年以上	
臨床美術論 III	2	2年以上	
臨床美術論 IV	2	2年以上	
陶芸制作 I	2	1年以上	
陶芸制作 II	2	1年以上	
ケアマネジメント論	2	3年以上	2科目4単位以上選択し修得
表現技術III(美術)	1	2年以上	
精神医学と精神医療 I	2	3年以上	
精神医学と精神医療 II	2	3年以上	

(23)社会貢献活動支援士課程に関する科目
(総合福祉学部・共生まちづくり学部・応用福祉学連係教育課程)

(別表41)

本学の授業科目名		単位	履修年次	授業形態	履修方法
基盤教育	モノの見方・考え方	2	1年以上	週間授業	20単位以上(10科目以上)選択し修得
	ボランティアを学ぶ	2	1年以上	週間授業	
	実践的防災を学ぶ	2	1年以上	週間授業	
学科・資格教育課程科目	災害と社会	2	1年以上	週間授業	
	情報と社会	2	1年以上	週間授業	
	レクリエーション理論	2	2年以上	週間授業	
	児童・家庭福祉	2	1年以上	週間授業	
	高齢者福祉	2	1年以上	週間授業	
	障害者福祉	2	1年以上	週間授業	
	地域福祉と包括的支援体制A	2	2年以上	週間授業	
	地域福祉と包括的支援体制B	2	2年以上	週間授業	
	国際福祉論	2	2年以上	週間授業	
	社会貢献論	2	2年以上	週間授業	
	非営利組織論	2	2年以上	週間授業	
	ファーストエイド	2	1年以上	週間授業	
	ボランティア活動論	2	2年以上	週間授業	
	人間関係論	2	2年以上	週間授業	
	災害復興支援論	2	2年以上	週間授業	
	原子力災害論	2	2年以上	週間授業	
その他の科目	生活支援工学Ⅰ	2	2年以上	週間授業	4単位以上(2科目以上)選択し修得
	ユニバーサルデザインのまちづくり	2	2年以上	週間授業	
	国際協力論	2	3年以上	週間授業	
	人的資源管理論	2	3年以上	週間授業	
	社会貢献学入門	2	1年以上	遠隔講義(他大学を含むオムニバス講義)	
	災害復興論	2	3年以上	遠隔講義(他大学授業)	
	地域の安全	2	3年以上	遠隔講義(他大学授業)	
	建築の安全	2	3年以上	遠隔講義(他大学授業)	
	国内実習	2	3年以上	スクーリング(神戸学院大学)	
	社会貢献実習Ⅱ	2	2年以上	スクーリング(神戸学院大学)	
	福祉ボランティア活動	2	1年以上	実習	

(24) デジタルコンテンツアセッサ課程に関する科目(総合福祉学部・共生まちづくり学部・教育学部・健康科学部医療経営管理学科・応用福祉学連係教育課程)
(別表42)

デジタルコンテンツアセッサ(3級)課程に関する科目

本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
情報と社会	2	1年以上	必修2単位

デジタルコンテンツアセッサ(2級)課程に関する科目

本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
iコンプライアンス論	2	2年以上	必修2単位

(25)救急救命士国家試験受験資格に関する科目(健康科学部医療経営管理学科) (別表43)

本学の授業科目名	単位		履修年次	履修方法
	必修	選択		
救急救命士課程科目	公衆衛生学	2	2年以上	必修77単位
	生命科学と医療の接点	2	1年以上	
	解剖生理学	2	1年以上	
	薬理学	1	2年以上	
	病理学	2	2年以上	
	生化学・栄養代謝学	1	2年以上	
	医療概論	4	1年以上	
	臨床医学総論	2	1年以上	
	臨床医学各論A	2	2年以上	
	臨床医学各論B	2	2年以上	
	臨床医学各論C	2	2年以上	
	臨床医学各論D	2	2年以上	
	臨床医学各論E	2	2年以上	
	臨床医学各論F	2	2年以上	
	百寿時代の老年医学	2	1年以上	
	ファーストエイド	2	1年以上	
	救急医学総論	2	2年以上	
	小児疾病治療論	1	2年以上	
	精神医学と精神医療 I	2	3年以上	
	放射線医学	1	2年以上	
	病院実習 I	4	3年以上	
	病院実習 II	4	4年	
	救急車同乗実習	2	3年以上	
	シミュレーション実習 I	2	1年以上	
	シミュレーション実習 II	4	2年以上	
	シミュレーション実習 III	4	3年以上	
	シミュレーション実習 IV	4	4年	
	医学概論	2	2年以上	
	外傷・中毒	2	3年以上	
	シミュレーション基礎実習	2	1年以上	
	災害医療論	2	2年以上	
	災害・イベント医療	2	3年以上	

(26)スクールソーシャルワーク教育課程に関する科目(総合福祉学部社会福祉学科) (別表44)

指定科目名称	本学の授業科目名	単位	履修年次	履修方法
スクールソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	2	3年以上	必修6単位
スクールソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	1	3年以上	
スクールソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	1	4年	
スクールソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	2	4年	
教育の基礎的理論に関する科目のうち「教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)」と「教育に関する社会的、制度的または経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)」科目の教育内容(1科目以上)	教育社会学概論B	2	2年以上	必修2単位
教育の基礎理論に関する科目のうち「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」と「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」を含む科目、及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」のうち「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」を含む科目の教育内容(1科目以上)	教育相談の理論と方法B	2	3年以上	1科目2単位以上選択
	生徒指導・進路指導論B	2	3年以上	
	教育心理学概論B	2	2年以上	必修2単位
精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援 I	2	2年以上	必修2単位
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉	2	1年以上	必修2単位
貧困に対する支援	公的扶助論	2	3年以上	必修2単位

(27)健康運動実践指導者課程に関する科目(応用福祉学連係教育課程) (別表45)

養成講習会科目名称	本学の授業科目名	単位数		履修年次	履修方法
		必修	選択		
健康づくり施策概論	成人保健	2		2年以上	必修16単位
運動生理学	身体運動科学	2		2年以上	
機能的解剖とバイオメカニクス	身体運動科学演習	1		2年以上	
体力測定と評価	身体活動と健康	2		1年以上	
健康づくりと運動プログラム	健康運動指導論	2		2年以上	
運動指導の心理学的基礎	健康・スポーツ栄養学	2		2年以上	
栄養摂取と運動	健康運動の理論と実践 I (ウォーキング、ジギング)	1		2年以上	
健康づくり運動の実際	健康運動の理論と実践 II (ストレッチング、レジスタンス運動)	1		2年以上	
	健康運動の理論と実践 III (エアロビックエクササイズ、体操)	1		2年以上	
	健康運動の理論と実践 IV (アクアエクササイズ)	1		2年以上	
	運動障害と予防・救急処置	1		2年以上	
補助科目	健康運動指導実習	4		2年以上	

(28)診療情報管理士課程に関する科目(健康科学部医療経営管理学科)

(別表46)

日本病院会 教科目	本学の授業科目名	単位数		履修年次	履修方法
		必修	選択		
基礎科目	医療概論	医療概論	4	1年以上	必修48単位
	人体構造・機能論	解剖生理学	2	1年以上	
	臨床医学総論 (外傷学・先天異常等含む)	臨床医学総論	2	1年以上	
	臨床医学各論Ⅰ (感染症および寄生虫症)	臨床医学各論A	2	2年以上	
	臨床医学各論Ⅱ (新生物)				
	臨床医学各論Ⅲ (血液・代謝・内分泌等)	臨床医学各論B	2	2年以上	
	臨床医学各論Ⅳ (精神・脳神経・感覚器系等)	臨床医学各論C	2	2年以上	
	臨床医学各論Ⅴ (循環器・呼吸器系)	臨床医学各論D	2	2年以上	
	臨床医学各論Ⅵ (消化器・泌尿器系)				
	臨床医学各論Ⅶ (周産期系)	臨床医学各論E	2	2年以上	
	臨床医学各論Ⅷ (皮膚・筋骨格系等)	臨床医学各論F	2	2年以上	
	医学・医療用語	医学・医療用語	2	2年以上	
専門科目	医療管理総論	医療経営管理論	2	1年以上	必修48単位
	医療管理各論Ⅰ (病院管理)	医療管理各論Ⅰ	2	3年以上	
	医療管理各論Ⅱ (医療保険・介護保険制度)				
	医療管理各論Ⅲ (医療安全・医療の質管理)	医療管理各論Ⅱ	2	3年以上	
	保健医療情報学	保健医療情報学	2	2年以上	
	医療統計Ⅰ (統計理論)	医療データサイエンス入門	2	2年以上	
	医療統計Ⅱ (病院統計・疾病統計)	医療データサイエンス実践	2	3年以上	
	診療情報管理Ⅰ (法令・諸規則)	診療情報管理論Ⅰ	2	2年以上	
	診療情報管理Ⅱ (診療情報管理士の実務)				
	診療情報管理Ⅲ (DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務)	診療情報管理論Ⅱ	2	3年以上	
	国際統計分類Ⅰ	国際統計分類Ⅰ	2	3年以上	
	国際統計分類Ⅱ	国際統計分類Ⅱ	4	3年以上	
病院実習		コミュニケーション基礎演習	1	2年以上	必修4単位
		医療機関実習事前指導	1	2年以上	
		医療機関実習	2	3年以上	
補助科目		臨床医学アドバンス	2	3年以上	
		情報処理応用実習 (MOS Excel/Access応用)	2	1年以上	
		医療事務実践講座	2	2年以上	
		医師事務作業補助実践講座	2	3年以上	自由選択

(29) 保健師国家試験受験資格に関する科目(健康科学部保健看護学科)

(別表47)

区分	本学の授業科目名	単位		履修年次	備考
		必修	選択		
学び続ける力	基礎演習アドバンス	1		1年以上	必修8単位
	生活の科学	1		1年以上	
	情報処理実習		2	1年以上	
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅢ(統合演習Ⅰ)	2		3年以上	
	リエゾンゼミⅣ(統合演習Ⅱ)	2		4年	
看護者として倫理を追求する力	看護倫理	1		1年以上	必修8単位
	医療安全論	1		2年以上	
	公衆衛生学	2		1年以上	
	社会福祉原論	2		2年以上	
	看護と関係法規	1		4年	
	教育学		2	4年	
	障害者教育方法論		2	4年	
	生死論	1		2年以上	
看護とは何かを考える力	看護学原論	1		1年以上	必修12単位
	臨床看護論	1		1年以上	
	地域看護学概論	1		1年以上	
	看護学基礎実習Ⅰ(人々の暮らしとWell-being)	1		1年以上	
	看護学基礎実習Ⅱ(看護の機能と役割)	1		1年以上	
	在宅看護学概論	1		1年以上	
	精神看護学概論	1		1年以上	
	母性看護学概論	1		1年以上	
	小児看護学概論	1		2年以上	
	成人看護学概論	1		2年以上	
	老年看護学概論	1		2年以上	
	公衆衛生看護学概論	1		2年以上	
	助産学概論		1	2年以上	
看護の基礎を築く科目	人体の構造と機能Ⅰ	2		1年以上	必修39単位
	人体の構造と機能Ⅱ	2		1年以上	
	生化学・代謝学	1		1年以上	
	微生物学	1		1年以上	
	栄養学	1		3年以上	
	生涯発達心理学	1		1年以上	
	行動科学	1		2年以上	
	保健医療社会学	1		1年以上	
	文化人類学	1		3年以上	
	家族看護論	1		2年以上	
	病態学・病理学	1		1年以上	
	臨床薬理学	2		2年以上	
	臨床検査学	1		2年以上	
	疾病治療論Ⅰ	2		2年以上	
	疾病治療論Ⅱ	1		2年以上	
	疾病治療論Ⅲ	2		2年以上	
	精神疾病治療論	1		2年以上	
	小児疾病治療論	1		2年以上	
	女性疾病治療論	1		2年以上	
	医療情報学	1		2年以上	
	保健統計学	2		3年以上	
	疫学	2		3年以上	
	地域看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	地域看護援助論Ⅱ	1		2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅱ	1		2年以上	
	在宅看護援助論Ⅰ	1		1年以上	
	精神看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	母性看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	小児看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	成人看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	老年看護援助論Ⅰ	1		2年以上	

看護の実践力を高める科目	対象者中心の看護を探求する力	コミュニケーション論	1		1年以上	必修25単位	
		看護過程論	1		2年以上		
		看護学基礎実習Ⅲ(対象者中心の看護の探求)	2		2年以上		
		ヘルスアセスメント論	1		2年以上		
		看護過程総合演習	1		3年以上		
		看護統合演習Ⅰ	1		3年以上		
		看護統合演習Ⅱ	1		4年		
		在宅看護援助論Ⅱ	1		2年以上		
		公衆衛生看護援助論Ⅲ	1		2年以上		
		精神看護援助論Ⅱ	1		2年以上		
		母性看護援助論Ⅱ	1		2年以上		
		地域母子保健		2	2年以上		
対象者中心の看護を実践する力		助産診断技術論Ⅰ		1	3年以上		
		助産診断技術論Ⅱ		1	3年以上		
		小児看護援助論Ⅱ	1		3年以上		
		成人看護援助論Ⅱ	1		3年以上		
		老年看護援助論Ⅱ	1		3年以上		
		がん看護論	1		3年以上		
		周手術期・救命救急看護論	2		3年以上		
		在宅看護援助論Ⅲ	1		3年以上		
		精神看護援助論Ⅲ	1		3年以上		
		母性看護援助論Ⅲ	1		3年以上		
		小児看護援助論Ⅲ	1		3年以上		
		老年看護援助論Ⅲ	1		3年以上		
多様な場で協働する力		看護管理	1		3年以上	必修22単位	
		看護研究方法論	1		3年以上		
対象者中心の看護を実践する力	生活援助論Ⅰ	2		1年以上			
	生活援助論Ⅱ	2		2年以上			
	診療援助論	1		2年以上			
	看護技術総合演習		1	4年			
	臨床看護実習Ⅰ	2		3年以上			
	臨床看護実習Ⅱ	2		3年以上			
	臨床看護実習Ⅲ	2		3年以上			
	重症・集中ケア実習	1		3年以上			
	在宅看護学実習	2		3年以上			
	精神看護学実習	2		3年以上			
	看護の専門性を積み上		母性看護学実習	2		3年以上	必修6単位
			小児看護学実習	2		3年以上	
			看護学統合実習	2		4年	
地域中心の看護を探求する力	産業保健論	1		3年以上			
	学校保健論	1		3年以上			
	災害看護論	1		3年以上			
	国際看護論		1	4年			
	多職種連携論	1		3年以上			
	認知症ケア実習	1		3年以上			
地域中心の看護を探求する力	継続看護実習	1		3年以上	必修12単位		
	公衆衛生看護援助論Ⅳ	1		3年以上			
	公衆衛生看護援助論Ⅴ	1		3年以上			
	公衆衛生看護援助論Ⅵ	1		4年			
	公衆衛生看護援助論Ⅶ	2		4年			
	公衆衛生看護学研究	2		4年			

(30)助産師国家試験受験資格に関する科目(健康科学部保健看護学科)

(別表48)

区分	本学の授業科目名	単位		履修年次	備 考
		必修	選択		
るを多 科考様 目え性	思考・判断力 性と生殖	1		1年以上	必修1単位
看護の基礎を築く科目	基礎演習アドバンス	1		1年以上	必修8単位
	生活の科学	1		1年以上	
	情報処理実習		2	1年以上	
	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2		2年以上	
	リエゾンゼミⅢ(統合演習Ⅰ)	2		3年以上	
	リエゾンゼミⅣ(統合演習Ⅱ)	2		4年	
	看護倫理	1		1年以上	必修8単位
	医療安全論	1		2年以上	
	公衆衛生学	2		1年以上	
	社会福祉原論	2		2年以上	
	看護と関係法規	1		4年	
	教育学		2	4年	
	障害者教育方法論		2	4年	
	生死論	1		2年以上	
看護とは何かを 考える力	看護学原論	1		1年以上	必修12単位
	臨床看護論	1		1年以上	
	地域看護学概論	1		1年以上	
	看護学基礎実習Ⅰ(人々の暮らしとWell-being)	1		1年以上	
	看護学基礎実習Ⅱ(看護の機能と役割)	1		1年以上	
	在宅看護学概論	1		1年以上	
	精神看護学概論	1		1年以上	
	母性看護学概論	1		1年以上	
	小児看護学概論	1		2年以上	
	成人看護学概論	1		2年以上	
	老年看護学概論	1		2年以上	
	公衆衛生看護学概論		1	2年以上	
看護の対象を理 解する力	助産学概論	1		2年以上	必修32単位
	人体の構造と機能Ⅰ	2		1年以上	
	人体の構造と機能Ⅱ	2		1年以上	
	生化学・代謝学	1		1年以上	
	微生物学	1		1年以上	
	栄養学	1		3年以上	
	生涯発達心理学	1		1年以上	
	行動科学		1	2年以上	
	保健医療社会学	1		1年以上	
	文化人類学	1		3年以上	
	家族看護論	1		2年以上	
	病態学・病理学	1		1年以上	
	臨床薬理学	2		2年以上	
	臨床検査学	1		2年以上	
	疾病治療論Ⅰ	2		2年以上	
	疾病治療論Ⅱ	1		2年以上	
	疾病治療論Ⅲ	2		2年以上	
	精神疾患治療論	1		2年以上	
	小児疾患治療論	1		2年以上	
	女性疾患治療論	1		2年以上	
	医療情報学	1		2年以上	
	保健統計学		2	3年以上	
	疫学		2	3年以上	
	地域看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	地域看護援助論Ⅱ	1		2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅰ		1	2年以上	
	公衆衛生看護援助論Ⅱ		1	2年以上	
	在宅看護援助論Ⅰ	1		1年以上	
	精神看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	母性看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	小児看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	成人看護援助論Ⅰ	1		2年以上	
	老年看護援助論Ⅰ	1		2年以上	

看護の実践力を高める科目	対象者中心の看護を探求する力	コミュニケーション論	1	1年以上	必修28単位
		看護過程論	1	2年以上	
		看護学基礎実習Ⅲ(対象者中心の看護の探求)	2	2年以上	
		ヘルスアセスメント論	1	2年以上	
		看護過程総合演習	1	3年以上	
		看護統合演習Ⅰ	1	3年以上	
		看護統合演習Ⅱ	1	4年	
		在宅看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
		公衆衛生看護援助論Ⅲ	1	2年以上	
		精神看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
対象者中心の看護を実践する力	対象者中心の看護を実践する力	母性看護援助論Ⅱ	1	2年以上	
		地域母子保健	2	2年以上	
		助産診断技術論Ⅰ	1	3年以上	
		助産診断技術論Ⅱ	1	3年以上	
		小児看護援助論Ⅱ	1	3年以上	
		成人看護援助論Ⅱ	1	3年以上	
		老年看護援助論Ⅱ	1	3年以上	
		がん看護論	1	3年以上	
		周手術期・救命救急看護論	2	3年以上	
		在宅看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
多様な場で協働する力	多様な場で協働する力	精神看護援助論Ⅲ	1	3年以上	必修22単位
		母性看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
		小児看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
		老年看護援助論Ⅲ	1	3年以上	
		看護管理	1	3年以上	
		看護研究方法論	1	3年以上	
		生活援助論Ⅰ	2	1年以上	
		生活援助論Ⅱ	2	2年以上	
		診療援助論	1	2年以上	
		臨床看護実習Ⅰ	2	3年以上	
看護の専門性目を積み上げ	母子と家族中心の助産を実践する力	臨床看護実習Ⅱ	2	3年以上	必修4単位
		臨床看護実習Ⅲ	2	3年以上	
		重症・集中ケア実習	1	3年以上	
		在宅看護学実習	2	3年以上	
		精神看護学実習	2	3年以上	
		母性看護学実習	2	3年以上	
		小児看護学実習	2	3年以上	
		看護学統合実習	2	4年	
		産業保健論	1	3年以上	
		学校保健論	1	3年以上	
看護の専門性目を積み上げ	母子と家族中心の助産を実践する力	災害看護論	1	3年以上	必修21単位
		国際看護論	1	4年	
		多職種連携論	1	3年以上	
		認知症ケア実習	1	3年以上	
		継続看護実習	1	3年以上	
		助産診断技術論Ⅲ	1	3年以上	
		助産診断技術論Ⅳ	1	3年以上	
		助産診断技術論Ⅴ	3	4年	
		助産診断技術論Ⅵ	1	4年	
		助産管理	2	4年	